

那珂川市
在宅介護実態調査
結果報告書

令和 5年 3月
那珂川市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収の結果	1
4. 報告書の見方	1
第2章 調査結果の分析	2
1. 那珂川市における介護者不安の内容	2
2. 「就労継続に問題はあるが、何とか続けていける」層の不安内容	3
3. 「単身世帯」かつ「中重度の要介護者」の増加を踏まえた支援	5
4. 保険外の支援やサービス	6
第3章 調査結果	7
1. 日常生活圏域	7
2. A票 あなたのご家族や生活状況について	8
3. B票 主な介護者の方について、お伺いします	22
第4章 調査票	35

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

第9期那珂川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、那珂川市在住の高齢者及び介護者の生活状況や介護・福祉サービスに対するご意見等を聴取し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の保健福祉行政に活かすために調査を行いました。

2. 調査の設計

調査地域	那珂川市全域
調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	那珂川市にお住まいの在宅で介護を受けられている方
調査期間	令和4年12月9日（金）～令和5年1月23日（月）

3. 回収の結果

	件数	割合
配付数	500件	100.0%
回収数	269件	53.8%（有効回収率）

4. 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。
- 小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。
- 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

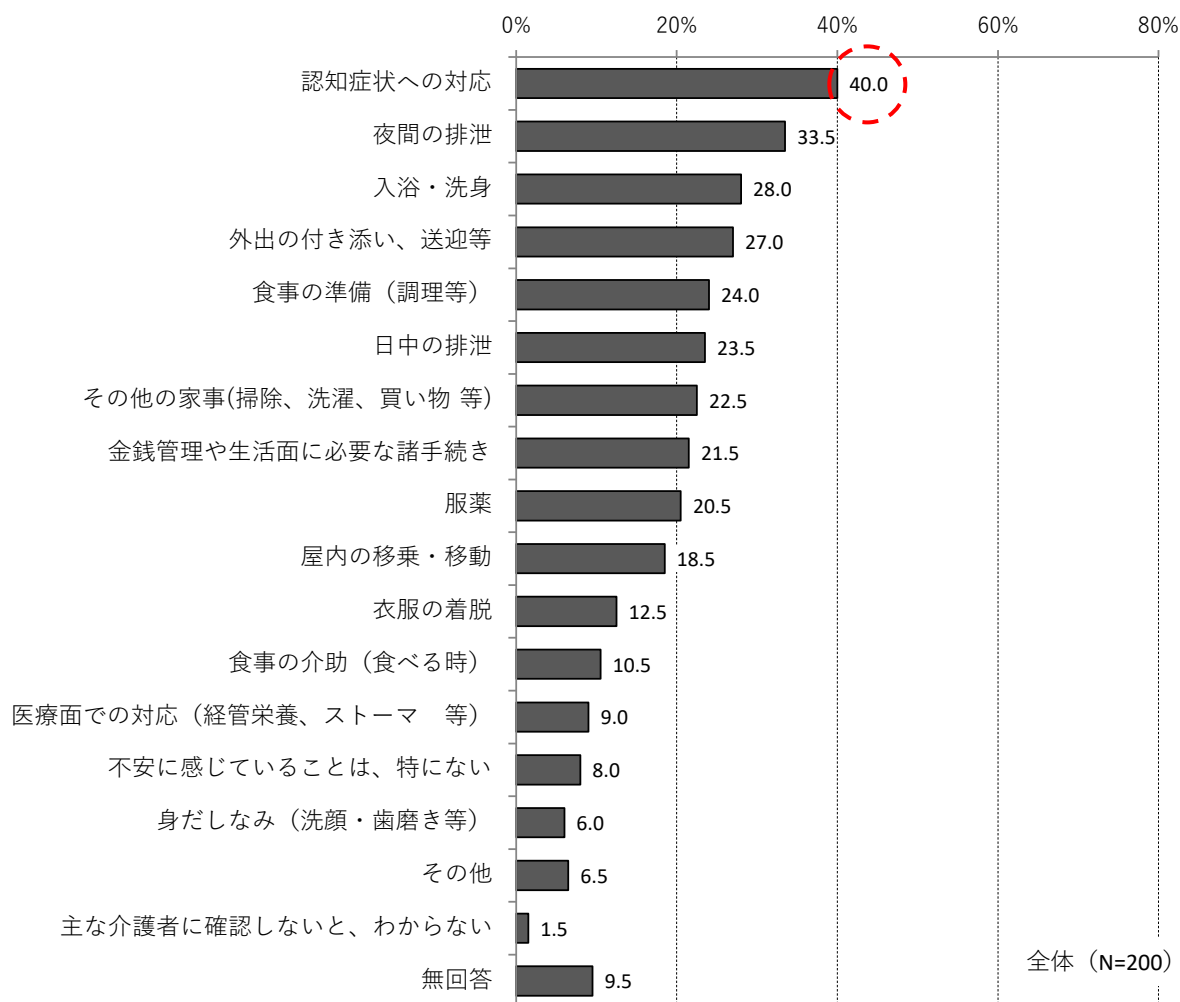
第2章 調査結果の分析

1. 那珂川市における介護者不安の内容

介護者不安が最も高いのは「認知症状への対応」であり、4割が不安を感じていることが分かります。

このような介護不安が高い要素をいかに軽減していくかが、在宅限界点の向上を図るための重要なポイントになると考えられます。本市においては、要介護者の在宅生活の継続に向け、「認知症状への対応」を1つの課題として位置付けていく必要があると考えられます。

図表 1 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

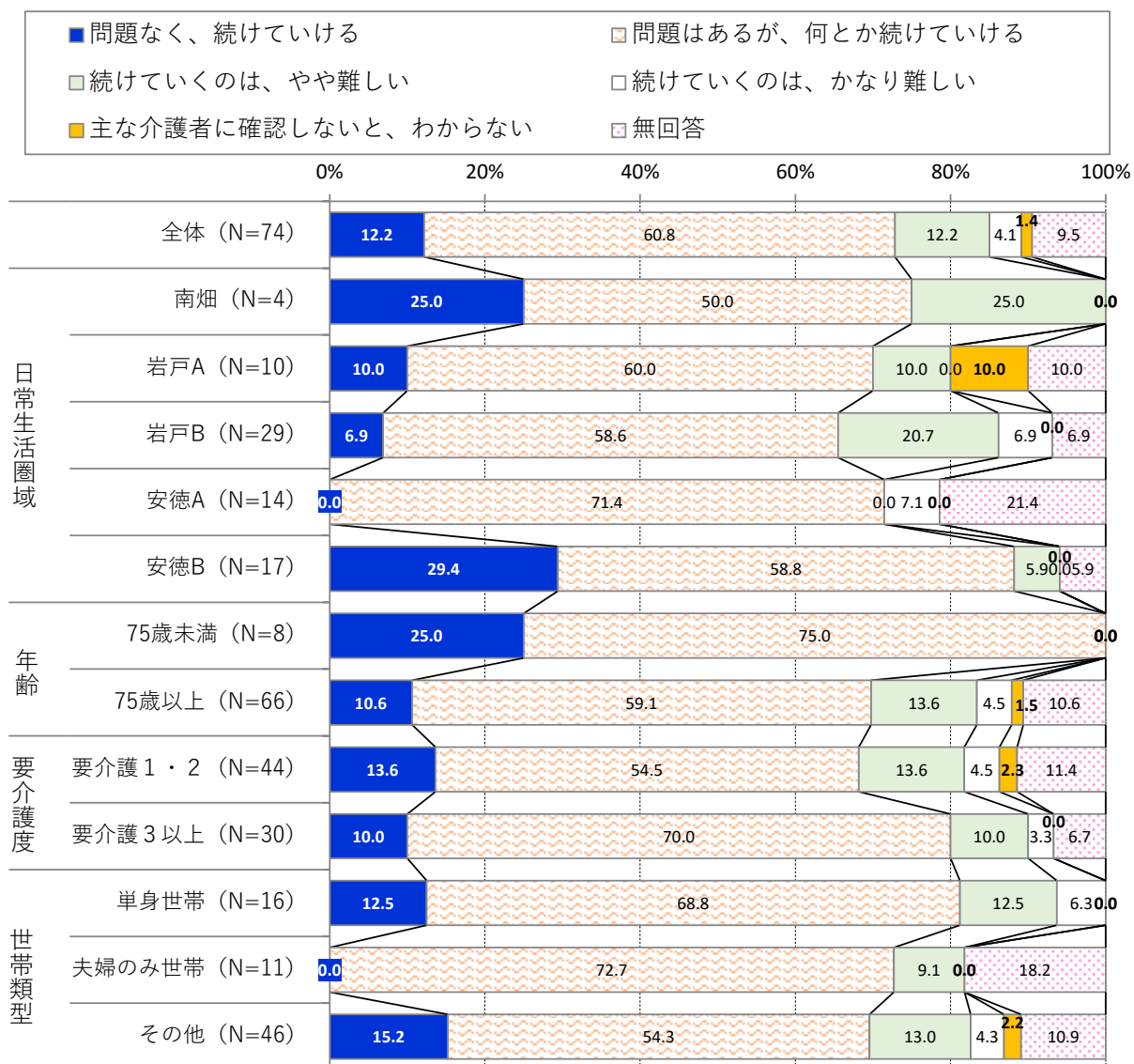


2. 「就労継続に問題はあがるが、何とか続けていける」層の不安内容

家族の就労継続に対する意識について、「問題はあがるが、何とか続けていける」との回答は、要介護者が要介護1・2の場合では54.5%、要介護3以上では70.0%となっています（図表2）。

就労を「問題なく、続けていける」と回答した層は現状、支援ニーズそのものが低い可能性があります。一方、「問題はあがるが、何とか続けていける」と回答した層は支援ニーズが高いと考えられることから、介護サービスや職場の働き方調整を通じて支援すべき主な対象は、「問題はあがるが、何とか続けていける」と回答した層であるといえます。

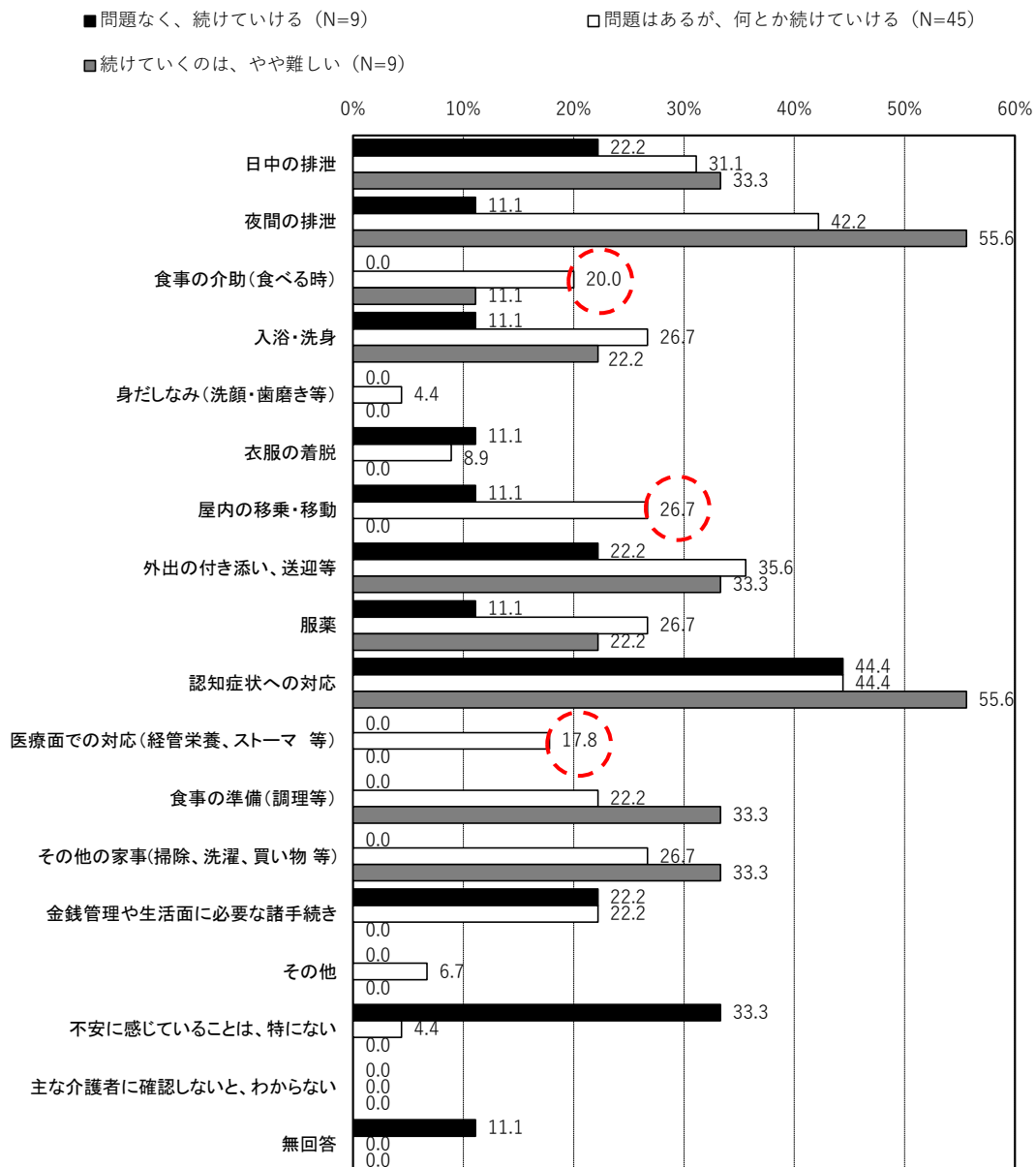
図表 2 就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



「問題はあるが、何とか続けていける層」が他の属性と比べて特に不安を感じる介護として、「食事の介助（食べる時）」「屋内の移乗・移動」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」等が挙げられます（図表3）。

介護者の就労状況により、家族介護者が関わる介護や不安を感じる介護は異なることから、介護サービスに対するニーズもそれぞれ異なると考えられます。多様な介護者の就労状況に合わせ、柔軟な対応が可能となる訪問系サービスや通所系サービスを組み合わせたり、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などの包括的サービスを活用したりすることが、仕事と介護の両立を継続させるポイントになると考えられます。

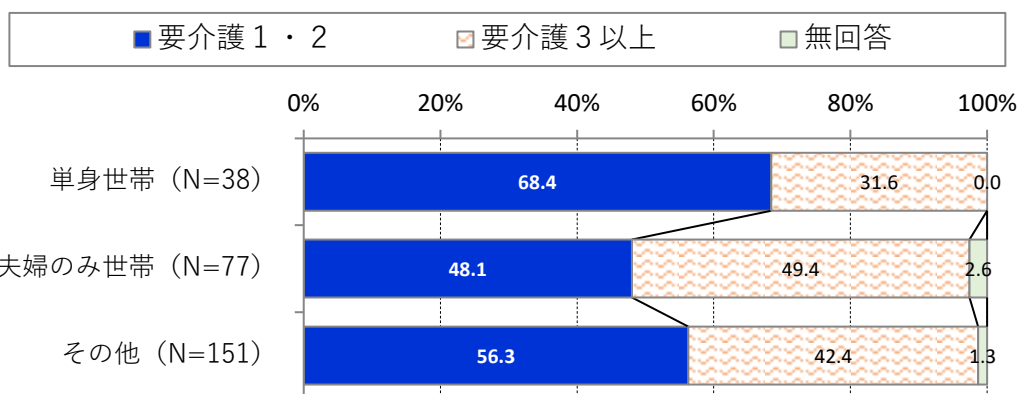
図表 3 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



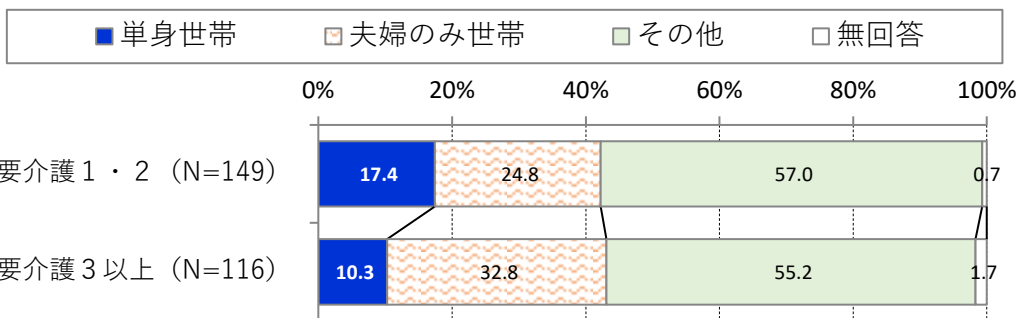
3. 「単身世帯」かつ「中重度の要介護者」の増加を踏まえた支援

単身世帯の68.4%が比較的軽度者（要介護1・2）となっています。現時点では、要介護3以上に占める単身世帯の割合は31.6%となっていますが、今後、「単身世帯」かつ「中重度の要介護者」が増加する可能性があることから、単身世帯の在宅療養生活を支えていくための支援やサービスの提供体制の構築が必要になると考えられます（図表5）。

図表 4 世帯類型別・要介護度



図表 5 要介護度別・世帯類型

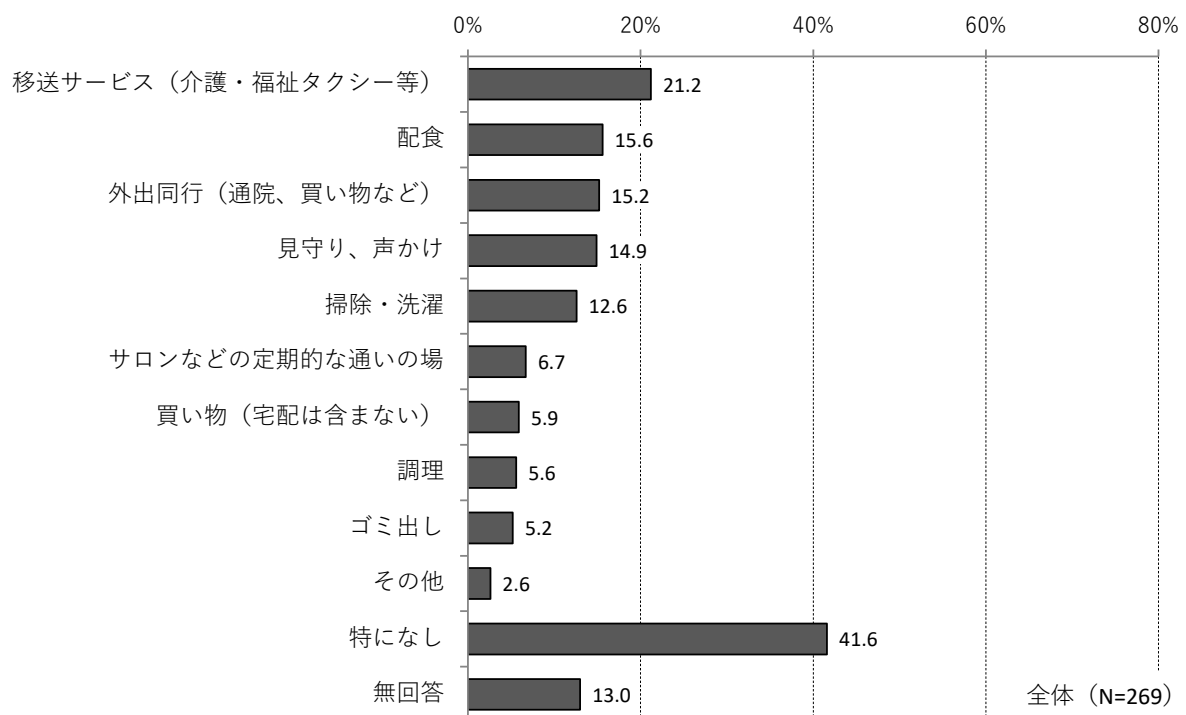


4. 保険外の支援やサービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援やサービスとして「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（21.2%）、「配食」（15.6%）、「外出同行（通院、買い物など）」（15.2%）「見守り、声かけ」（14.9%）が比較的多く挙げられています（図表6）。

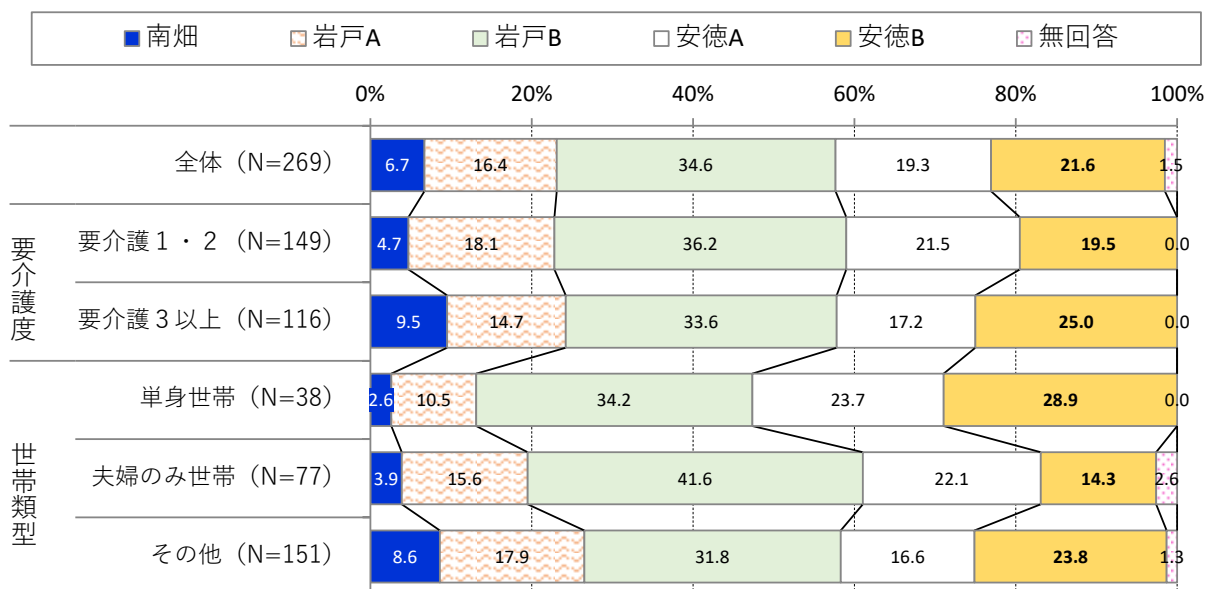
介護者が不安を感じる介護として、「外出の付き添い、送迎等」は比較的高い水準となっていること（図表1参照）、外出に係る支援やサービスは、「買い物」や「サロンへの参加」などと深い関係があることから、特に外出に係る支援やサービスの充実は課題であるといえます。

図表 6 在宅生活の継続に必要と感じる支援やサービス



第3章 調査結果

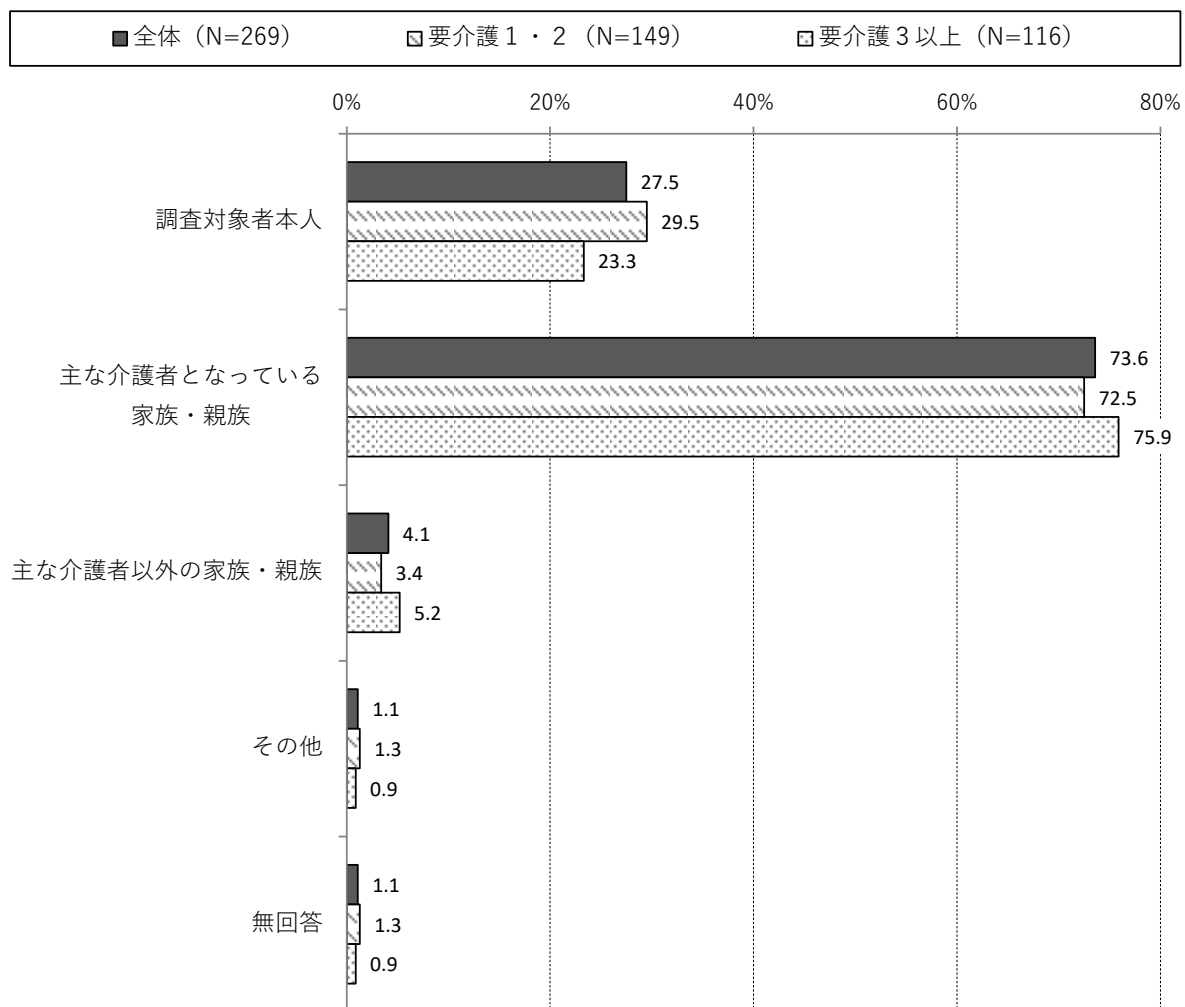
1. 日常生活圏域



- 日常生活圏域については、全体では「南畑」が6.7%、「岩戸A」が16.4%、「岩戸B」が34.6%、「安徳A」が19.3%、「安徳B」が21.6%となっています。

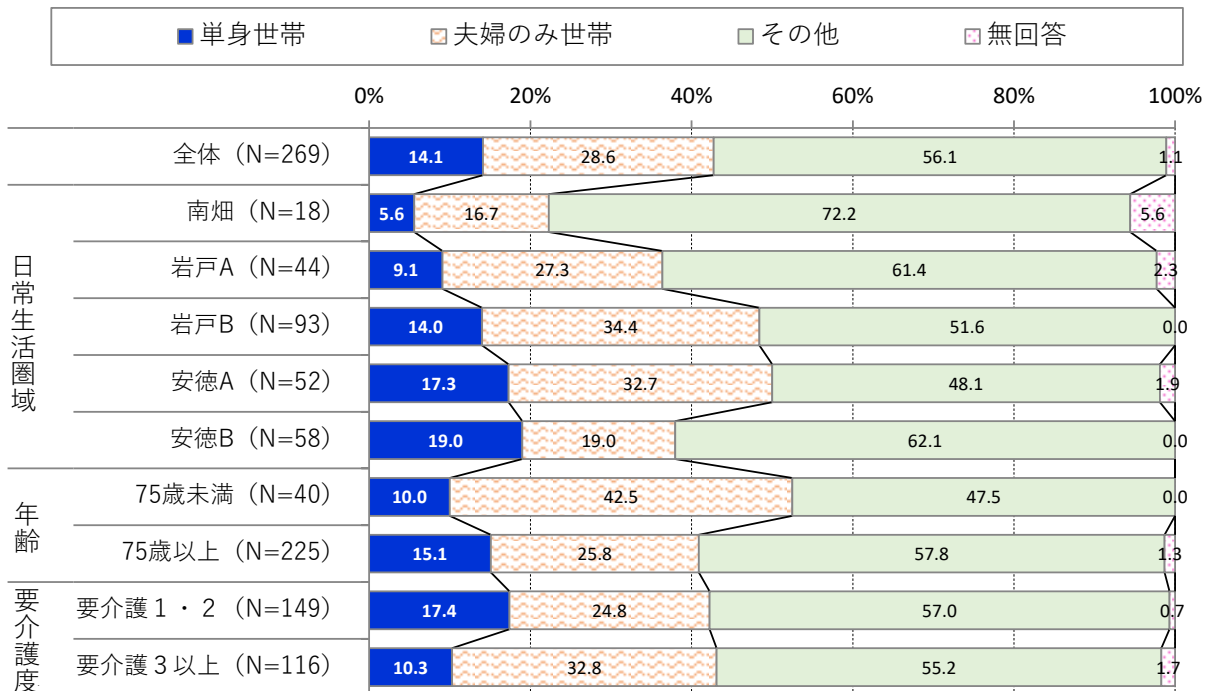
2. A票 あなたのご家族や生活状況について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）



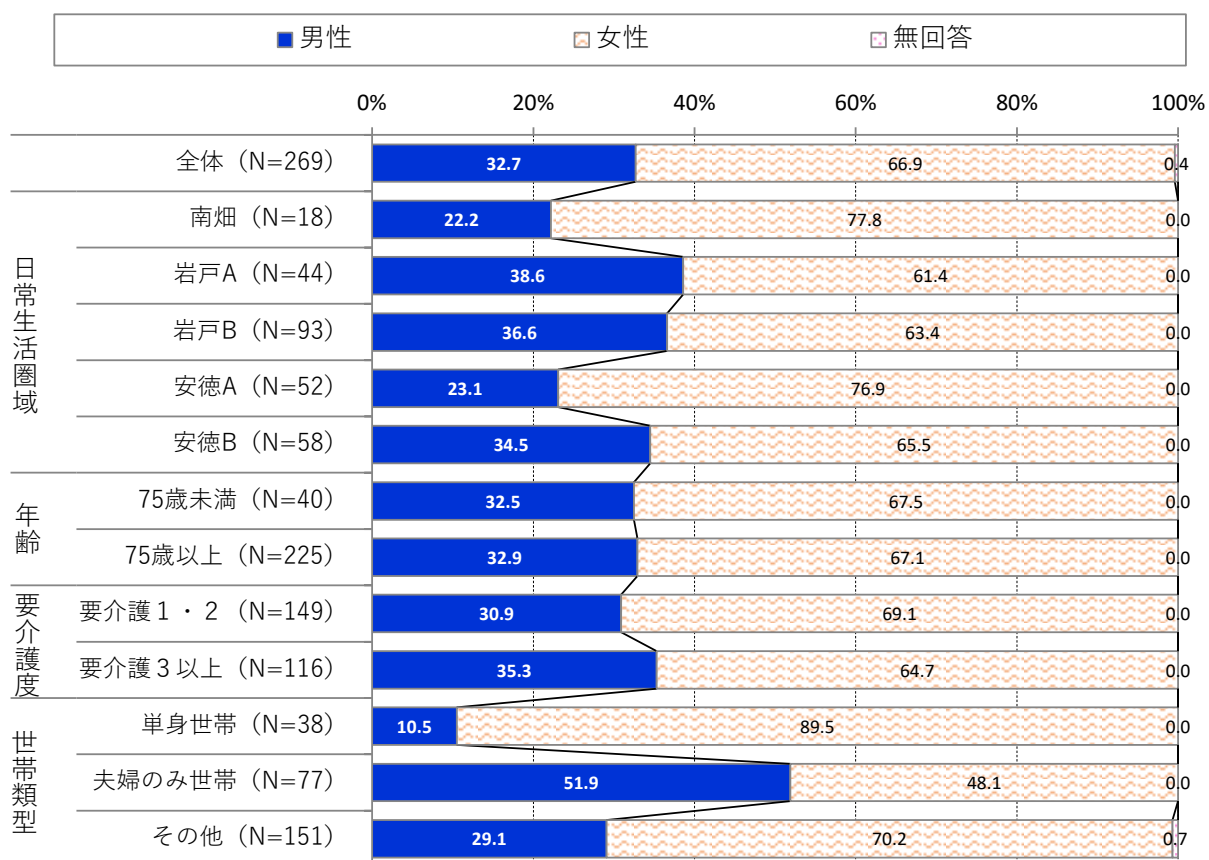
- 調査票の回答者についてたずねたところ、「主な介護者となっている家族・親族」が最も多く全体の73.6%、次いで「調査対象者本人」が全体の27.5%となっています。

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



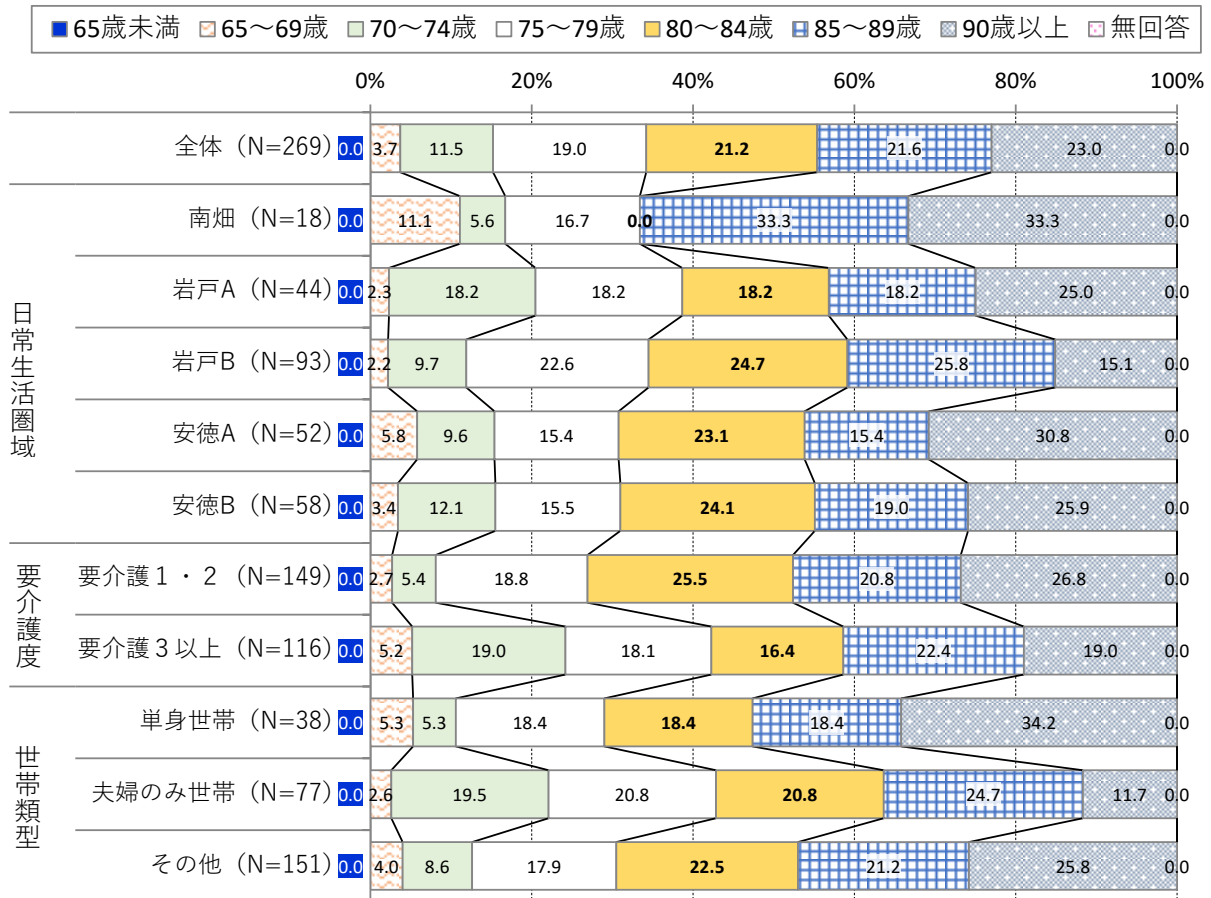
- 世帯類型についてたずねたところ、「その他」が最も多く56.1%、次いで「夫婦のみ世帯」が28.6%、「単身世帯」が14.1%と続きます。
- 日常生活圏域別にみると、「南畑」では「単身世帯」が5.6%と最も低く、「安德B」では19.0%と最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「単身世帯」の「75歳未満」は10.0%、「75歳以上」では15.1%で、5.1ポイント高くなっています。また、「夫婦のみ世帯」は「75歳未満」で42.5%、「75歳以上」で25.8%となっており、16.7ポイント減少しています。
- 要介護度別にみると、「単身世帯」は「要介護1・2」で17.4%、「要介護3以上」で10.3%となっており、7.1ポイント減少しています。

問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）



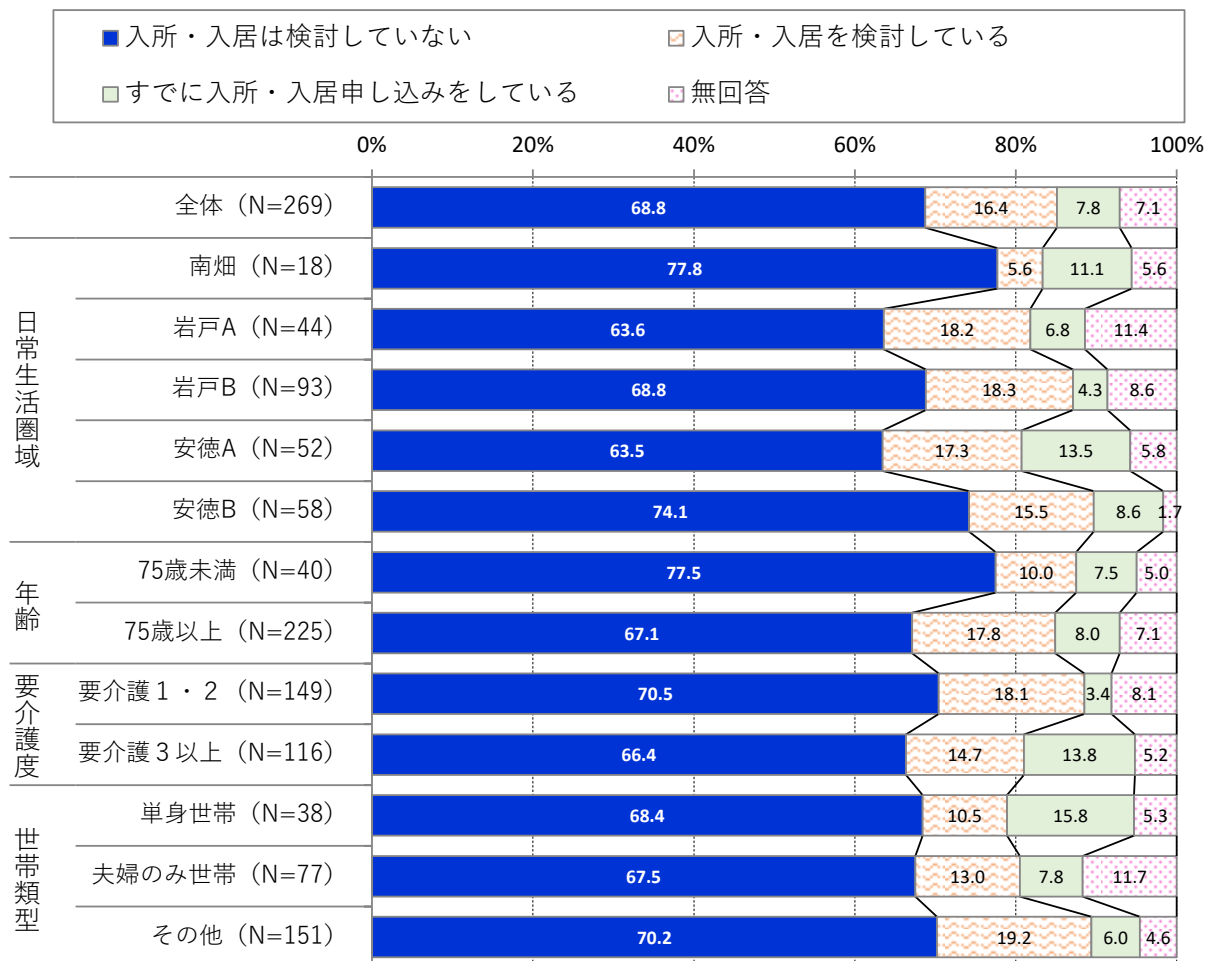
- 調査対象者の性別についてたずねたところ、「男性」が32.7%、「女性」が66.9%となっています。
- 日常生活圏域別にみると、「南畑」「安徳A」では男性の割合が低くなっています。
- 年齢、要介護度による特徴的な差異はみられません。
- 世帯類型別にみると、単身世帯では89.5%が「女性」となっている一方、「夫婦のみ世帯」では「男性」が51.9%、「女性」が48.1%とほぼ半数の割合となっています。

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



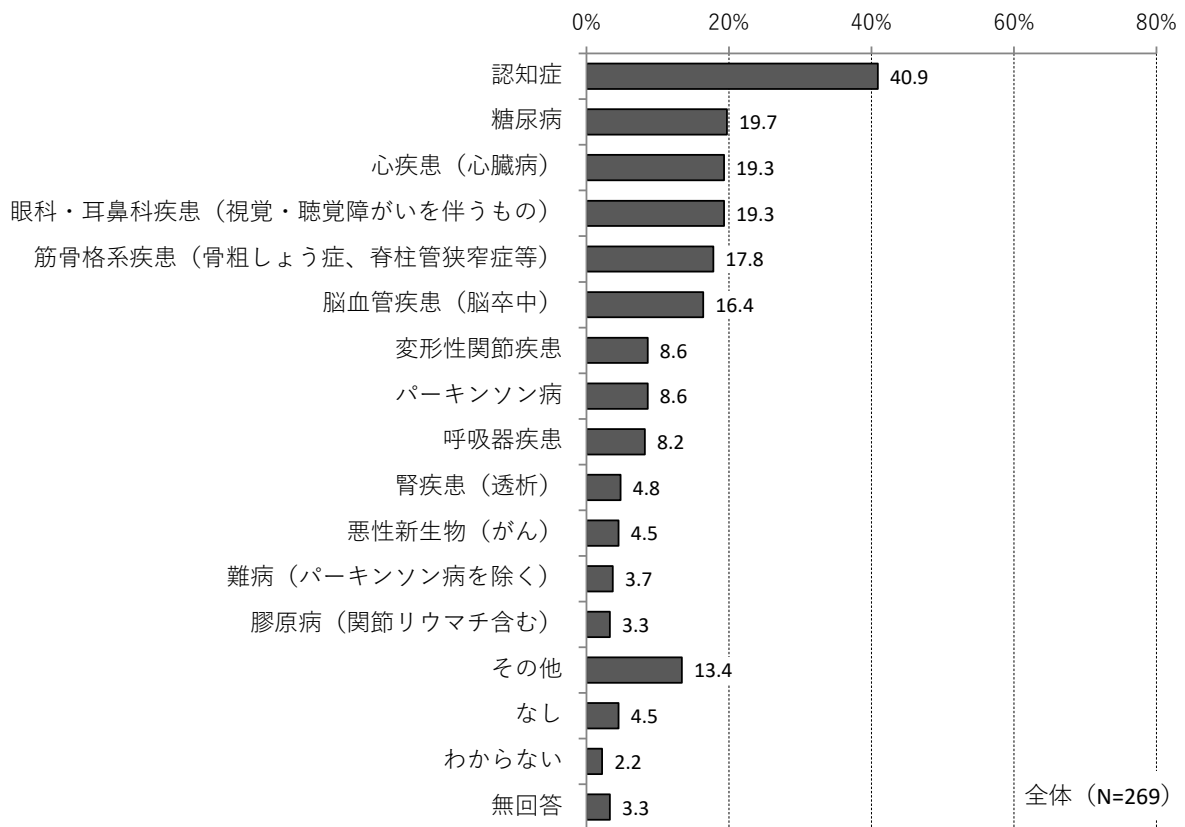
- 調査対象者の年齢についてたずねたところ、「90歳以上」が最も多く23.0%、次いで「85~89歳」が21.6%、「80~84歳」が21.2%と続きます。
- 日常生活圏域別にみると、「南畑」「安德A」では「90歳以上」の割合が3割以上と、他の圏域と比較して高くなっています。
- 要介護度別にみると、75歳未満の割合が「要介護1・2」で8.1%、「要介護3以上」で24.2%と、「要介護3以上」の方が高くなっています。
- 世帯類型別にみると、75歳未満が「夫婦のみ世帯」で22.1%と他の世帯類型よりも高くなっています。また、「単身世帯」では「90歳以上」が34.2%と他の世帯類型よりも高くなっています。

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



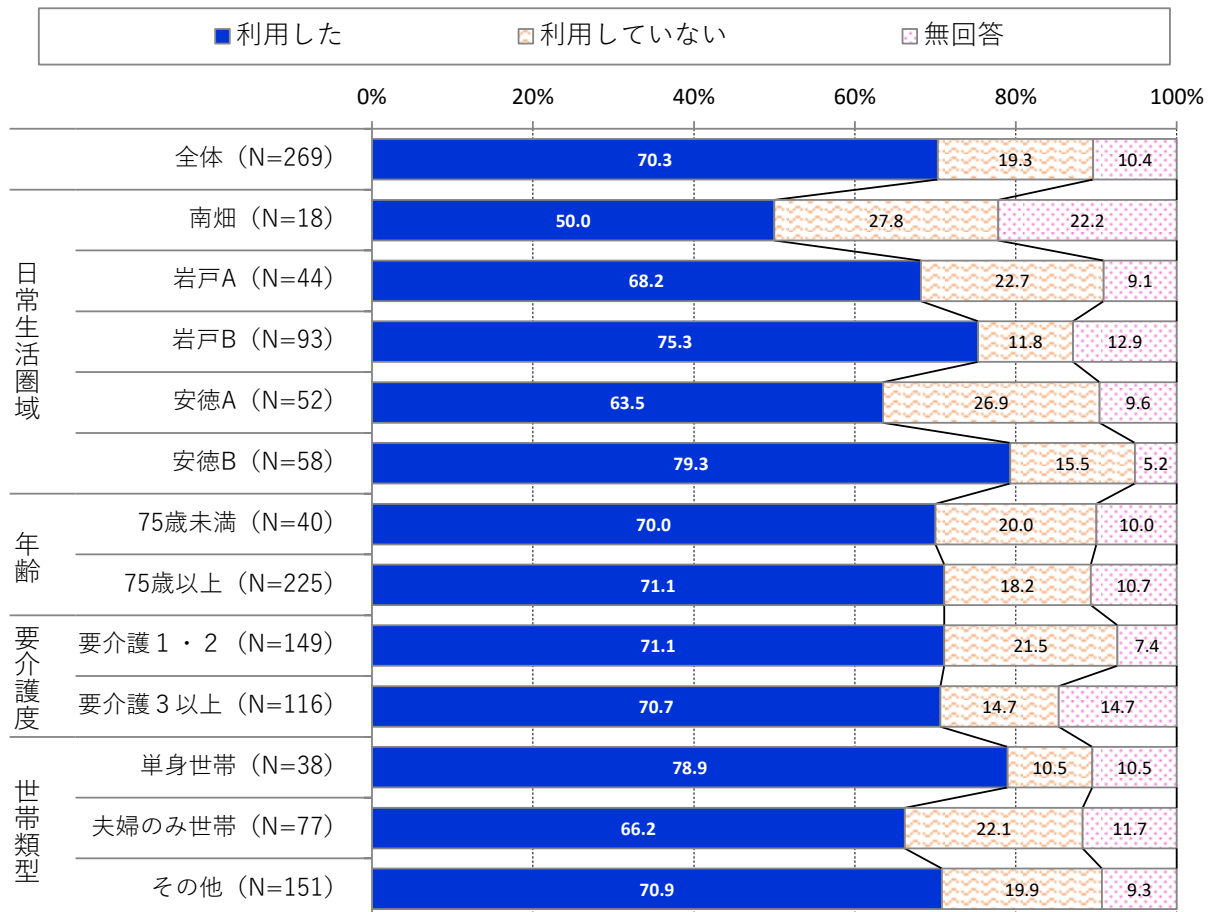
- 施設等への入所・入居の検討状況についてたずねたところ、「入所・入居を検討していない」が68.8%、「入所・入居を検討している」が16.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.8%となっています。
- 日常生活圏域による特徴的な差異は見受けられませんでした。
- 年齢別にみると、「75歳未満」と比較して「75歳以上」では、「入所・入居を検討している」の回答率が7.8ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」の回答率は「要介護1・2」で3.4%、「要介護3以上」で13.8%と、10.4ポイント高くなっています。
- 世帯類型別では、「その他」の世帯で「入所・入居を検討している」の回答率が19.2%と、他の世帯類型と比較して高くなっています。

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
 （複数選択可）



- 調査対象者が現在抱えている傷病についてたずねたところ、「認知症」が最も多く40.9%、次いで「糖尿病」が19.7%、「心疾患（心臓病）」が19.3%と続きます。

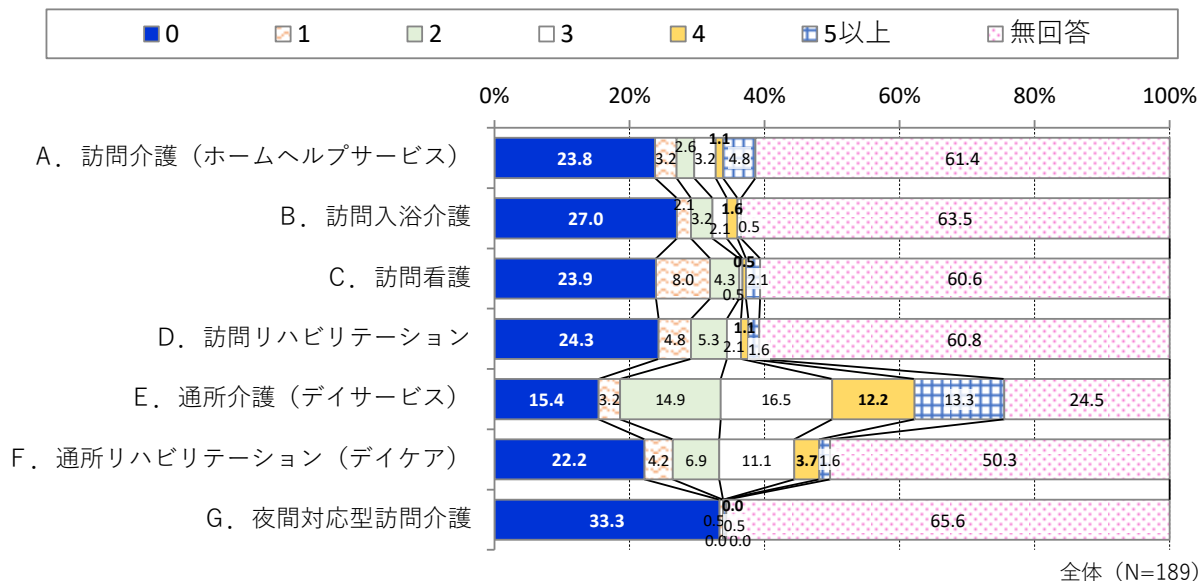
問8 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)



- 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況についてたずねたところ、「利用した」が70.3%、「利用していない」が19.3%となっています。
- 年齢・要介護度別の差異は見受けられませんが、世帯類型別にみると、「単身世帯」で「利用した」が78.9%と、全体や他の世帯類型よりも高くなっています。

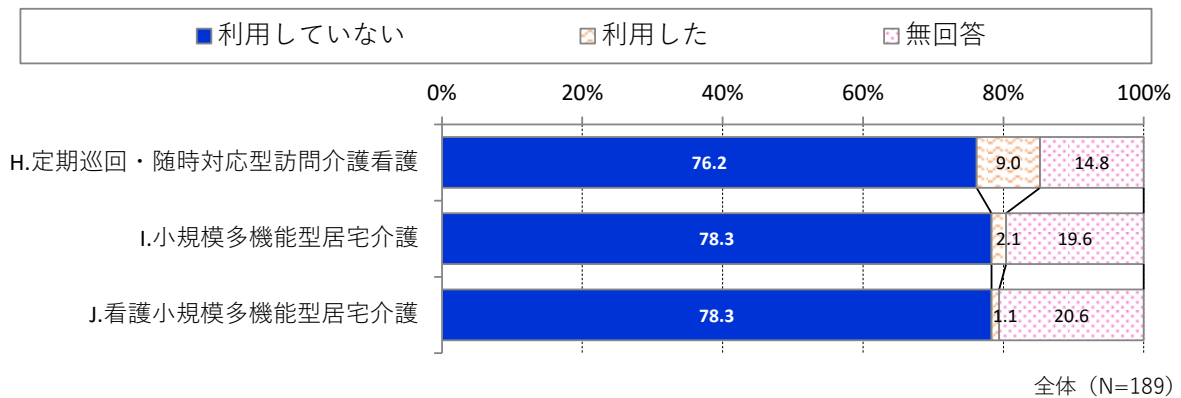
問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

【利用の回数】



- 訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、夜間対応型訪問介護の利用状況についてそれぞれたずねました。
- 利用者が最も多いのは「通所介護（デイサービス）」で、60.1%が1回以上の利用があったと回答しています。
- 利用者が最も少ないのは「夜間対応型訪問介護」で、33.3%が利用していないと回答しています。

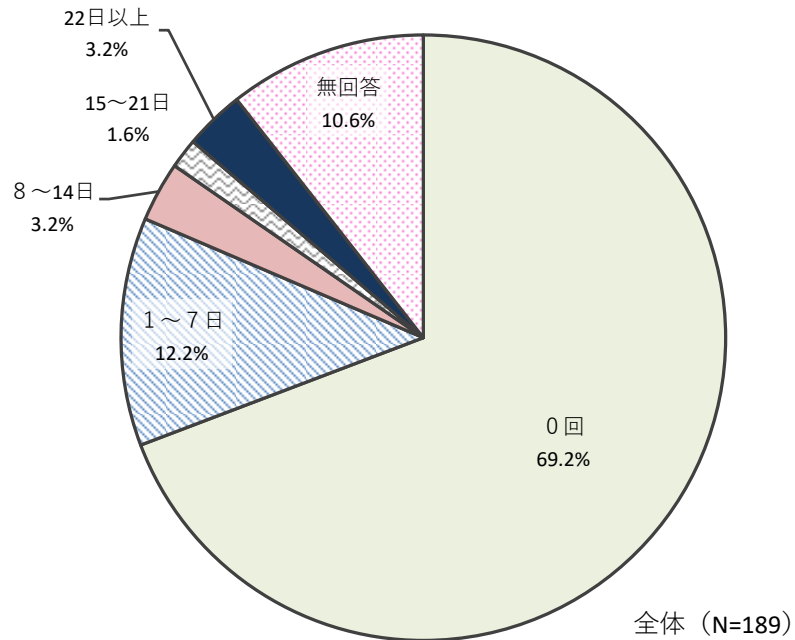
【利用の有無】



- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の利用状況についてそれぞれたずねました。
- 利用者が最も多いのは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で 9.0%が「利用した」と回答しています。
- いずれのサービスも「利用していない」の回答率が7割以上となっています。

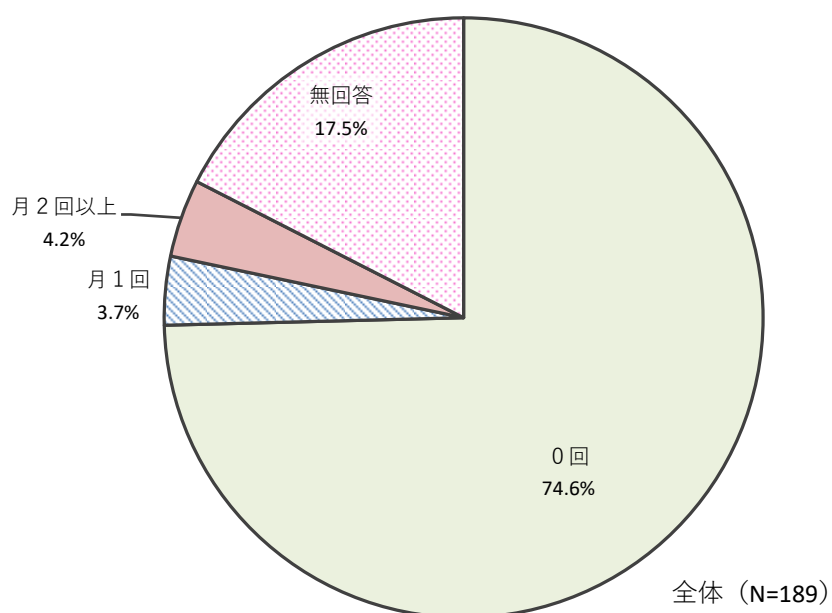
【1か月あたりの利用日数】

K. ショートステイ



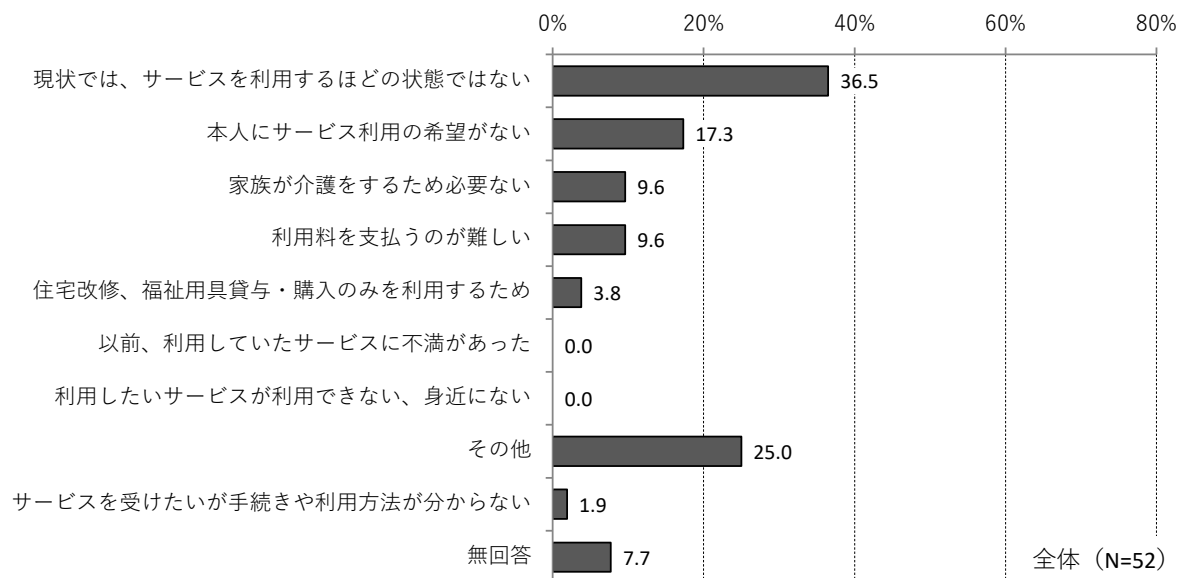
- ショートステイの利用状況についてたずねたところ、「0回」が 69.2%、「1～7日」が 12.2%、「8～14日」が 3.2%、「15～21日」が 1.6%、「22日以上」が 3.2%となっています。

L. 居宅療養管理指導



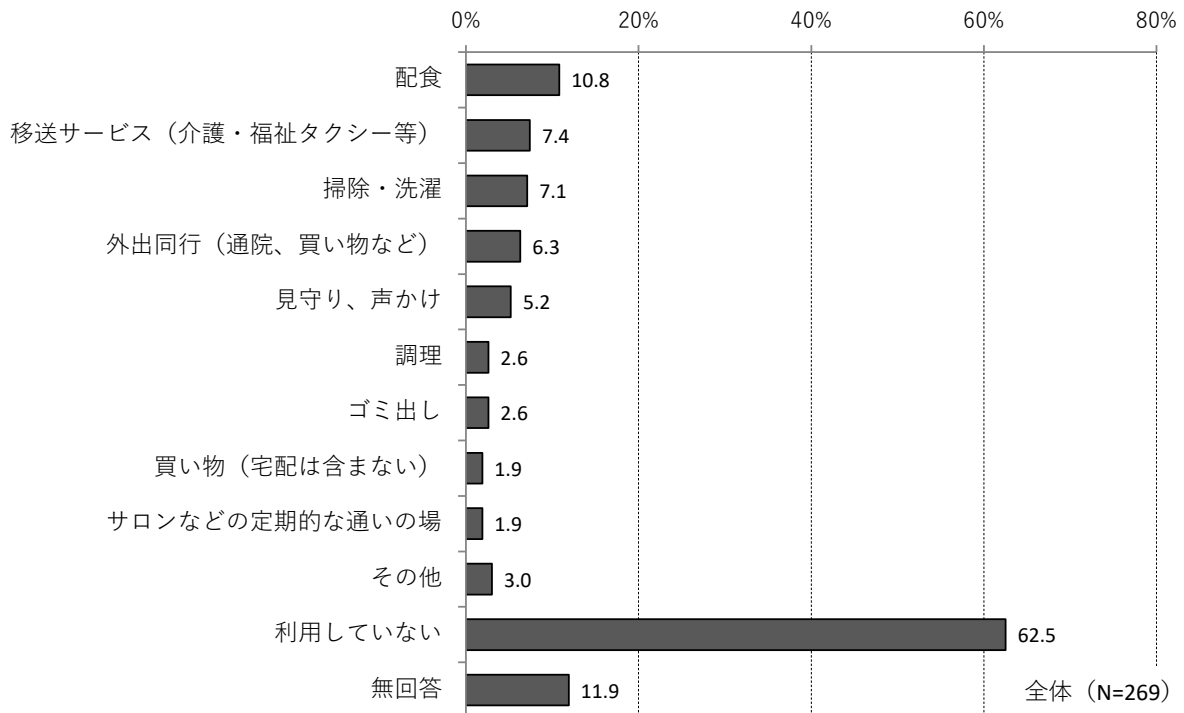
- 居宅療養管理指導の利用状況についてたずねたところ、74.6%が「0回」、3.7%が「月1回」、4.2%が「月2回以上」と回答しています。

問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



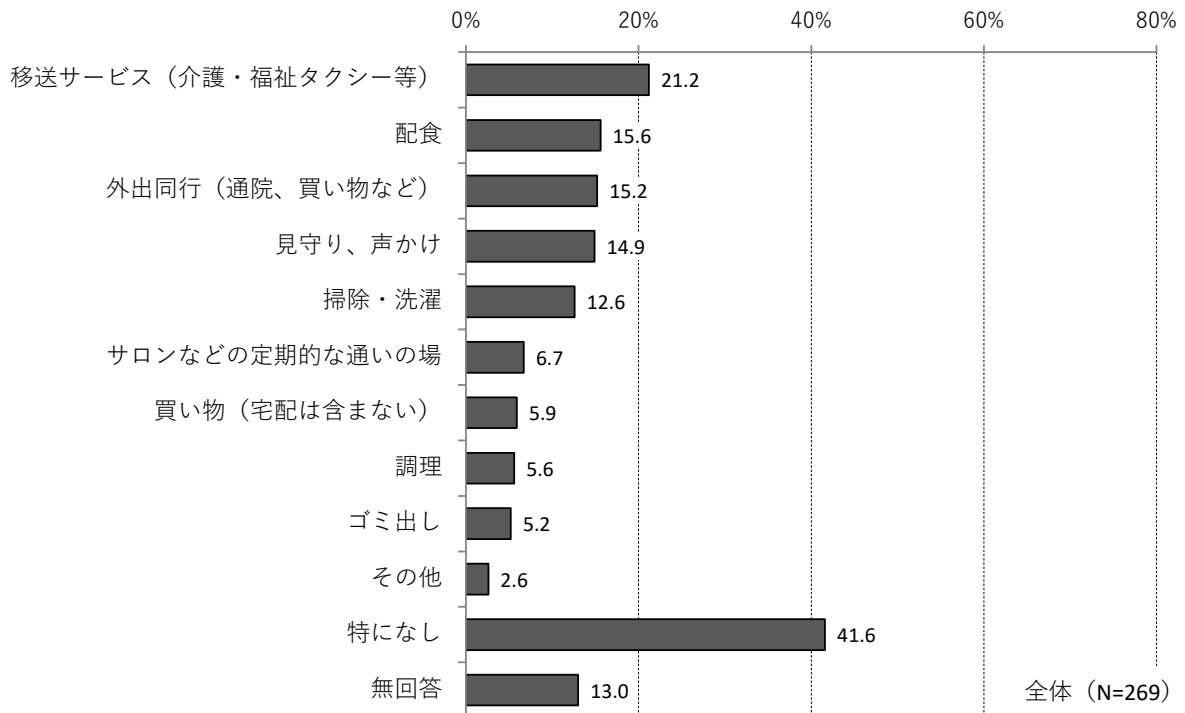
- 介護保険サービスを利用していない理由についてたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く 36.5%、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 17.3%、「家族が介護をするため必要ない」「利用料を支払うのが難しい」が 9.6%と続きます。

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。



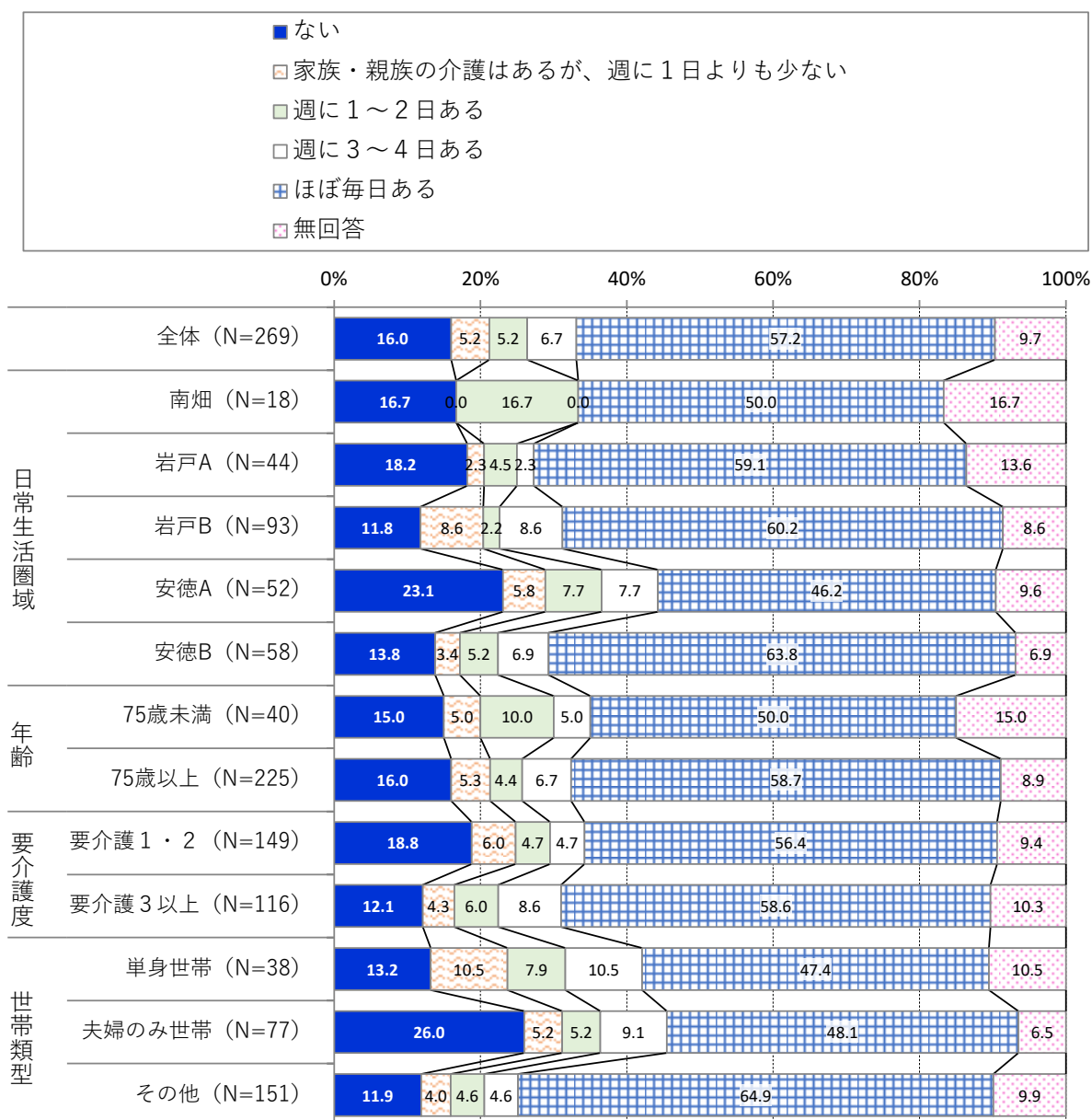
- 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況についてたずねたところ、「配食」が最も多く 10.8%、次いで「移送サービス (介護・福祉タクシー)」が 7.4%、「掃除・洗濯」が 7.1%と続きます。

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。



- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてたずねたところ、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が最も多く21.2%、次いで「配食」が15.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.2%と続きます。

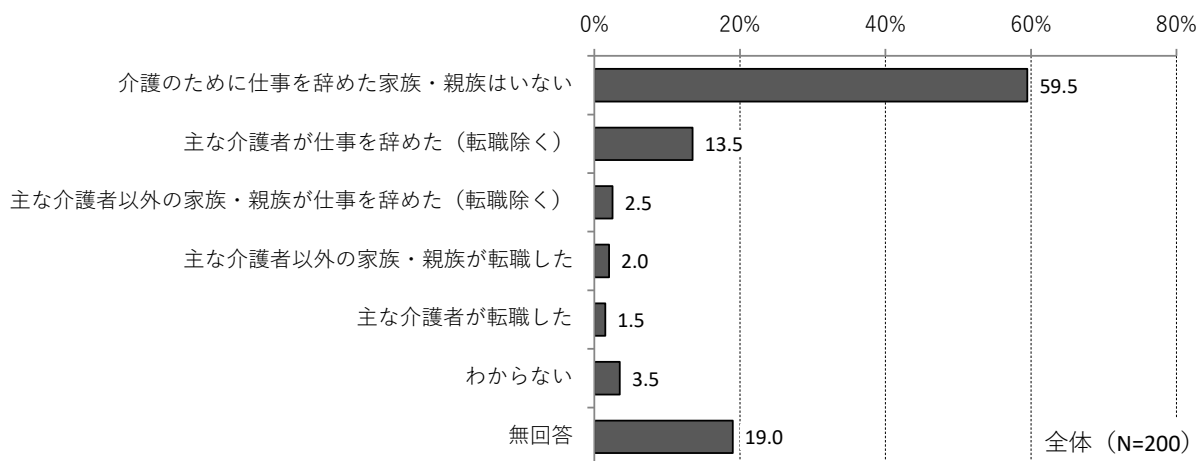
問13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



- 家族や親族からの介護の頻度についてたずねたところ、「ほぼ毎日ある」が最も多く57.2%、次いで「ない」が16.0%、「週に3~4日ある」が6.7%と続きます。
- 日常生活圏域別にみると、「岩戸B」では「ない」の回答率が11.8%と最も低く、「安徳A」では23.1%と最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「75歳未満」と比較して「75歳以上」で「ほぼ毎日」の回答率が8.7ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「要介護1・2」と比較して「要介護3以上」で「ない」の回答率が6.7ポイント減少しています。
- 世帯類型別にみると、「単身世帯」と比較して「夫婦のみ世帯」の方が「ない」の回答率が12.8ポイント高くなっています。

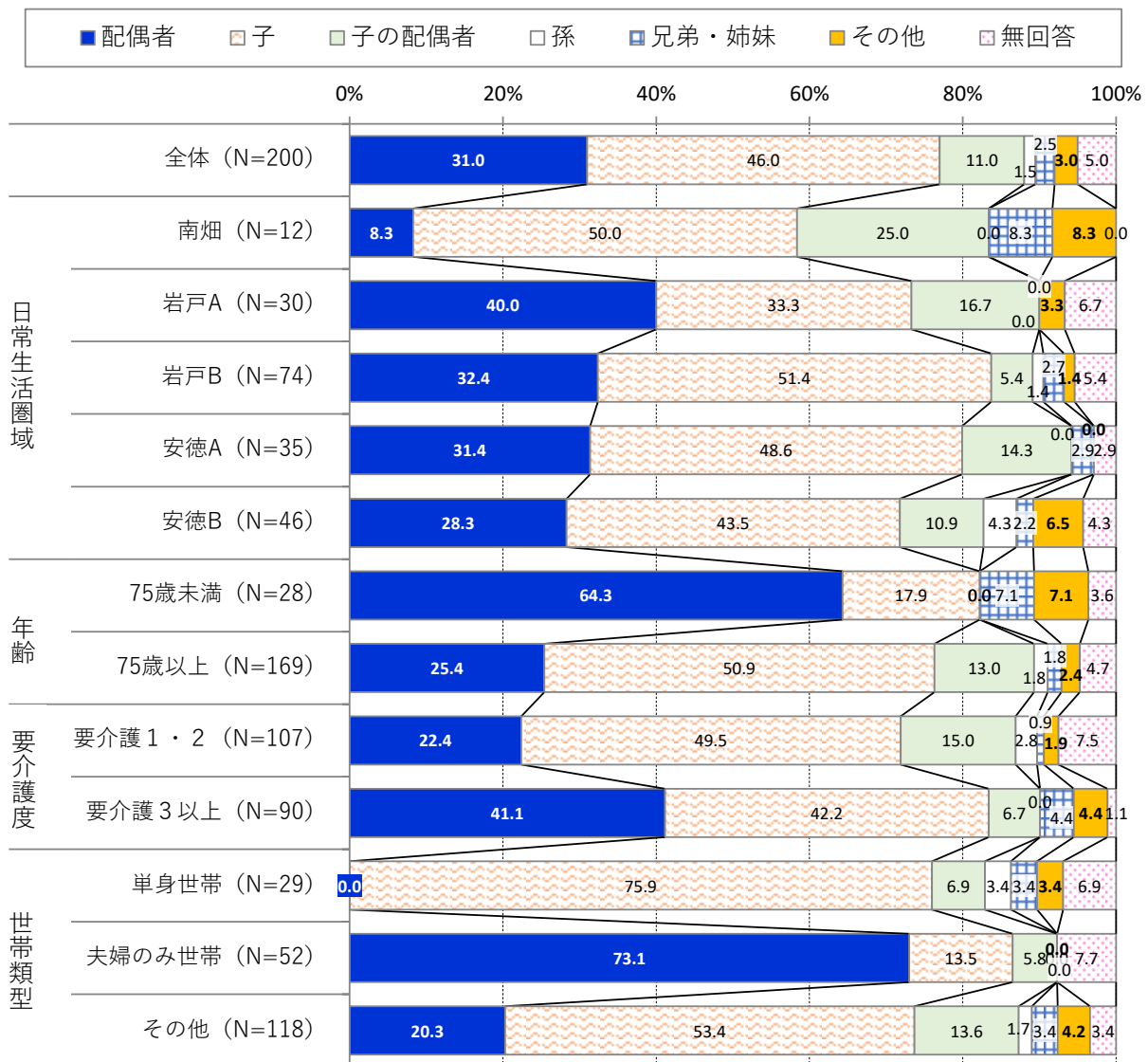
3. B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。



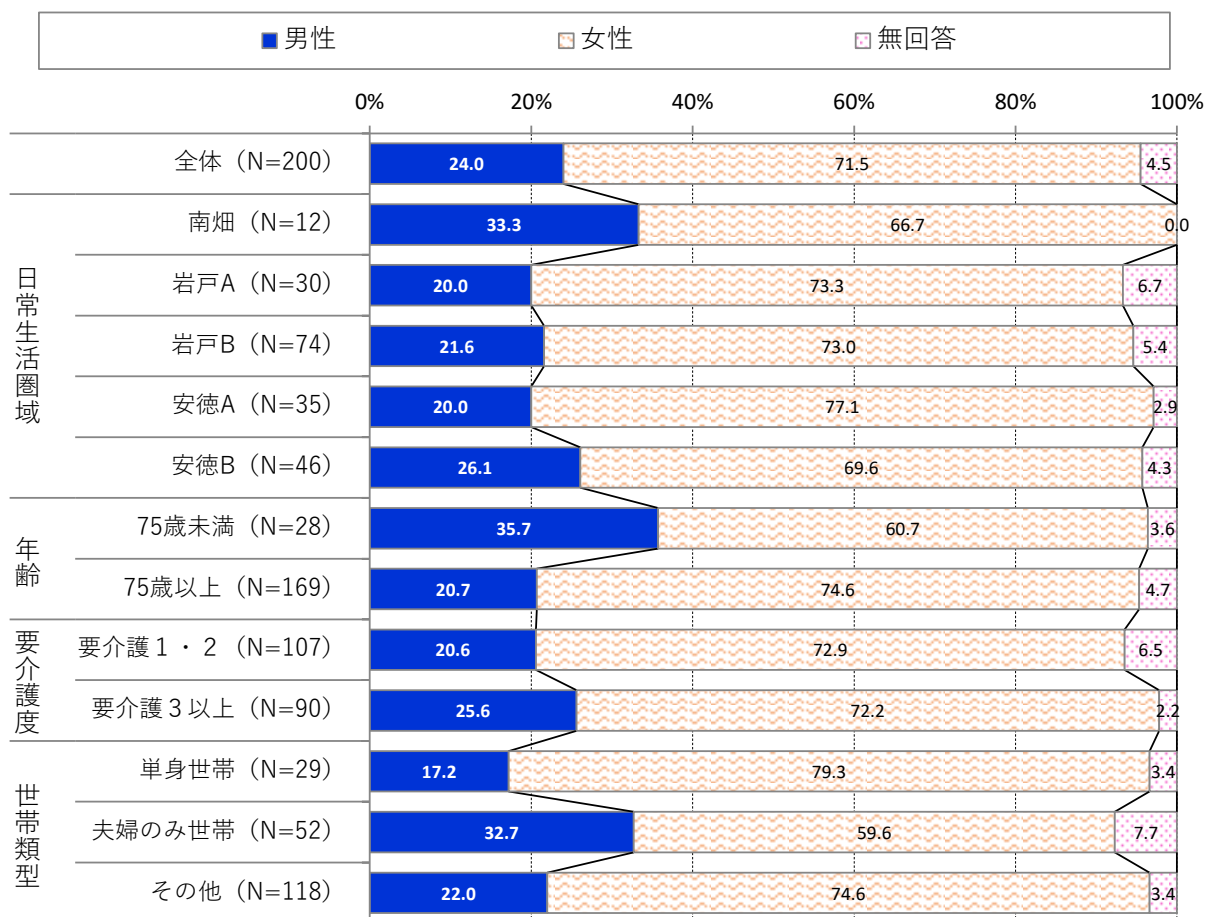
- 家族や親族の中で、介護を理由にして離職した人がいるかについてたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く 59.5%、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 13.5%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が 2.5%と続きます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



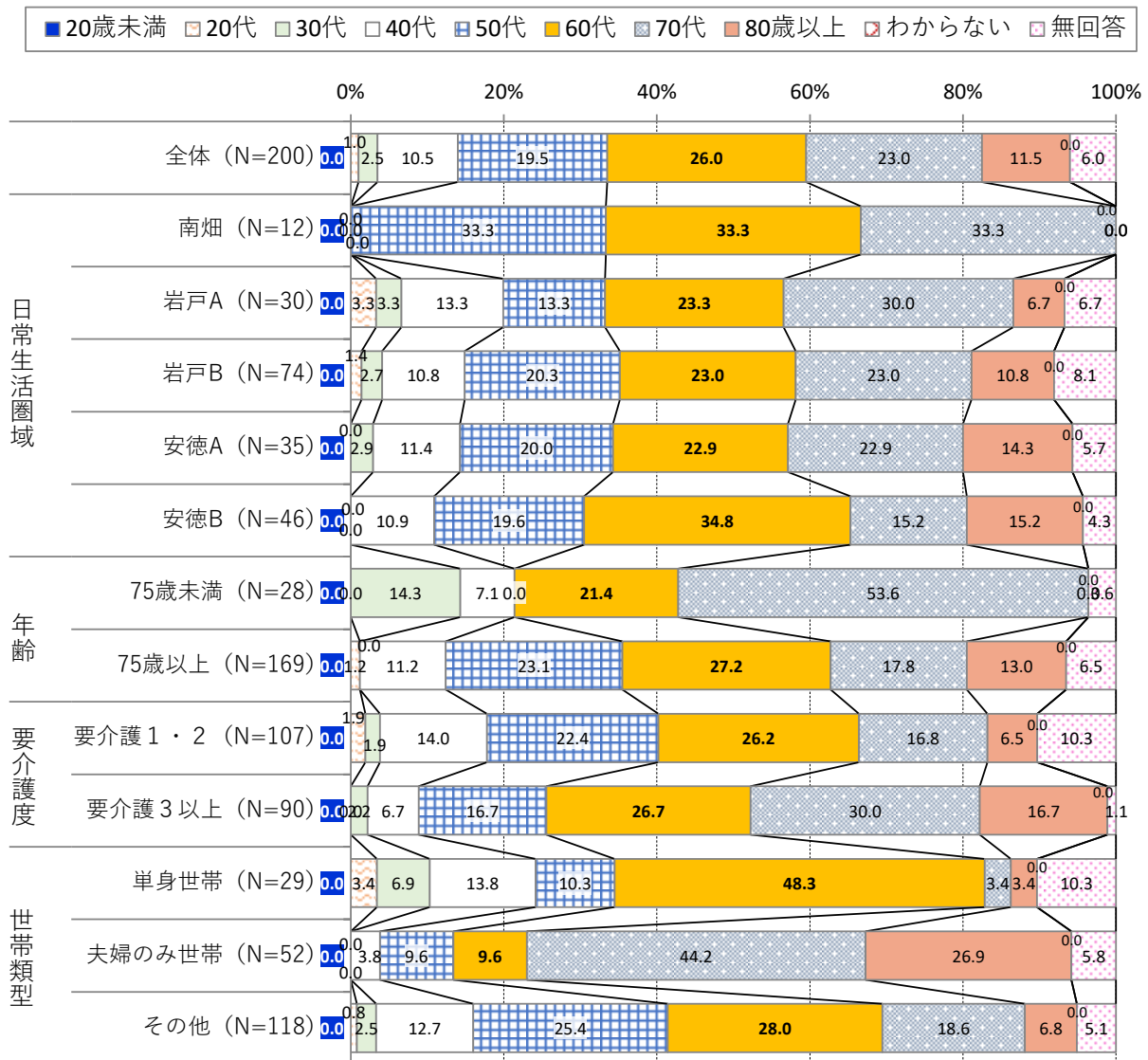
- 主な介護者についてたずねたところ、「子」が最も多く 46.0%、次いで「配偶者」が 31.0%、「子の配偶者」が 11.0%と続きます。
- 年齢別にみると、「配偶者」の割合が「75歳未満」で 64.3%、「75歳以上」で 25.4%と、38.9ポイント低くなっています。
- 要介護度別にみると、「配偶者」の割合が「要介護1・2」で 22.4%、「要介護3以上」で 41.1%と、18.7ポイント高くなっています。
- 世帯類型別にみると、「その他」の世帯では半数以上の 53.4%が「子」と回答しています。

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



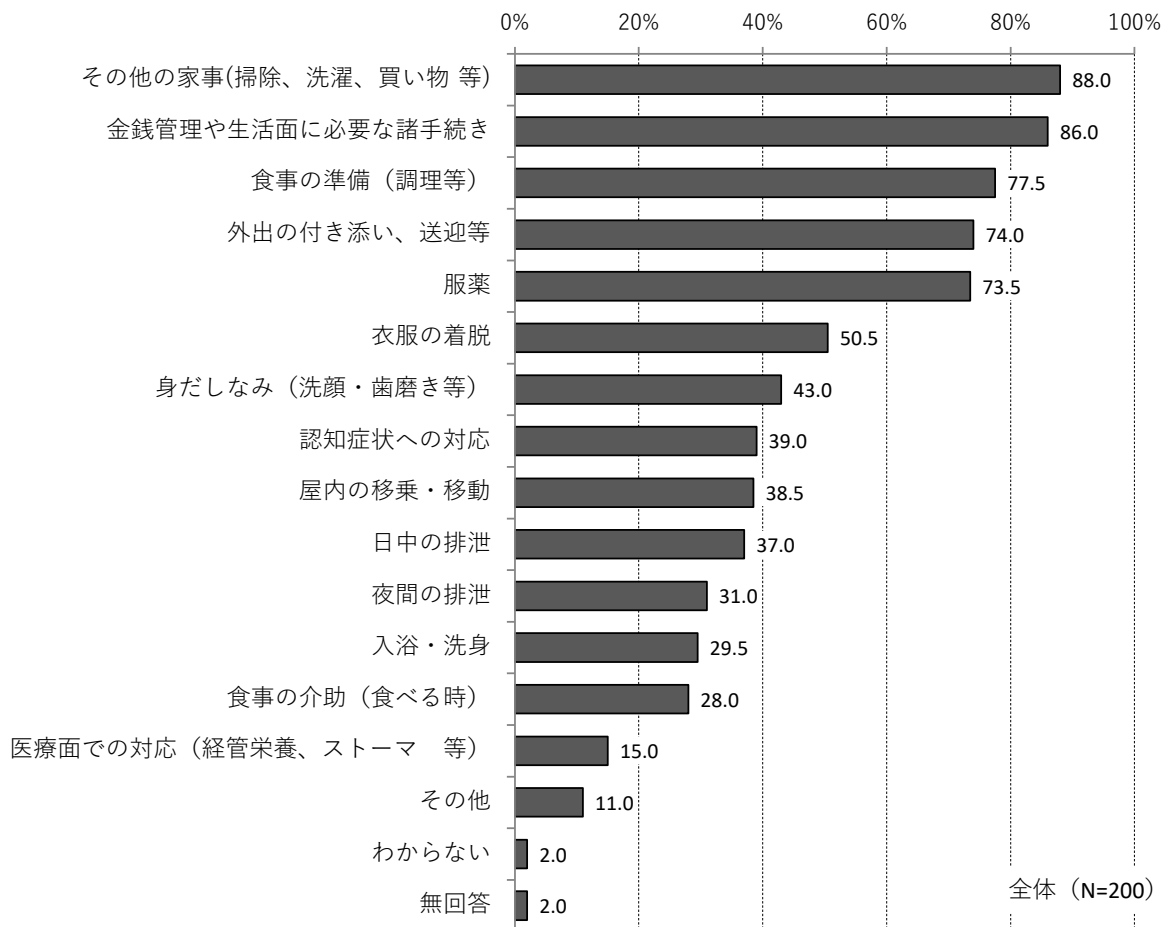
- 主な介護者の性別についてたずねたところ、「男性」が24.0%、「女性」が71.5%となっています。
- 日常生活圏域、年齢、要介護度、世帯類型別でも特徴的な差異は見受けられませんが、いずれの属性でも「女性」が6割以上となっています。

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



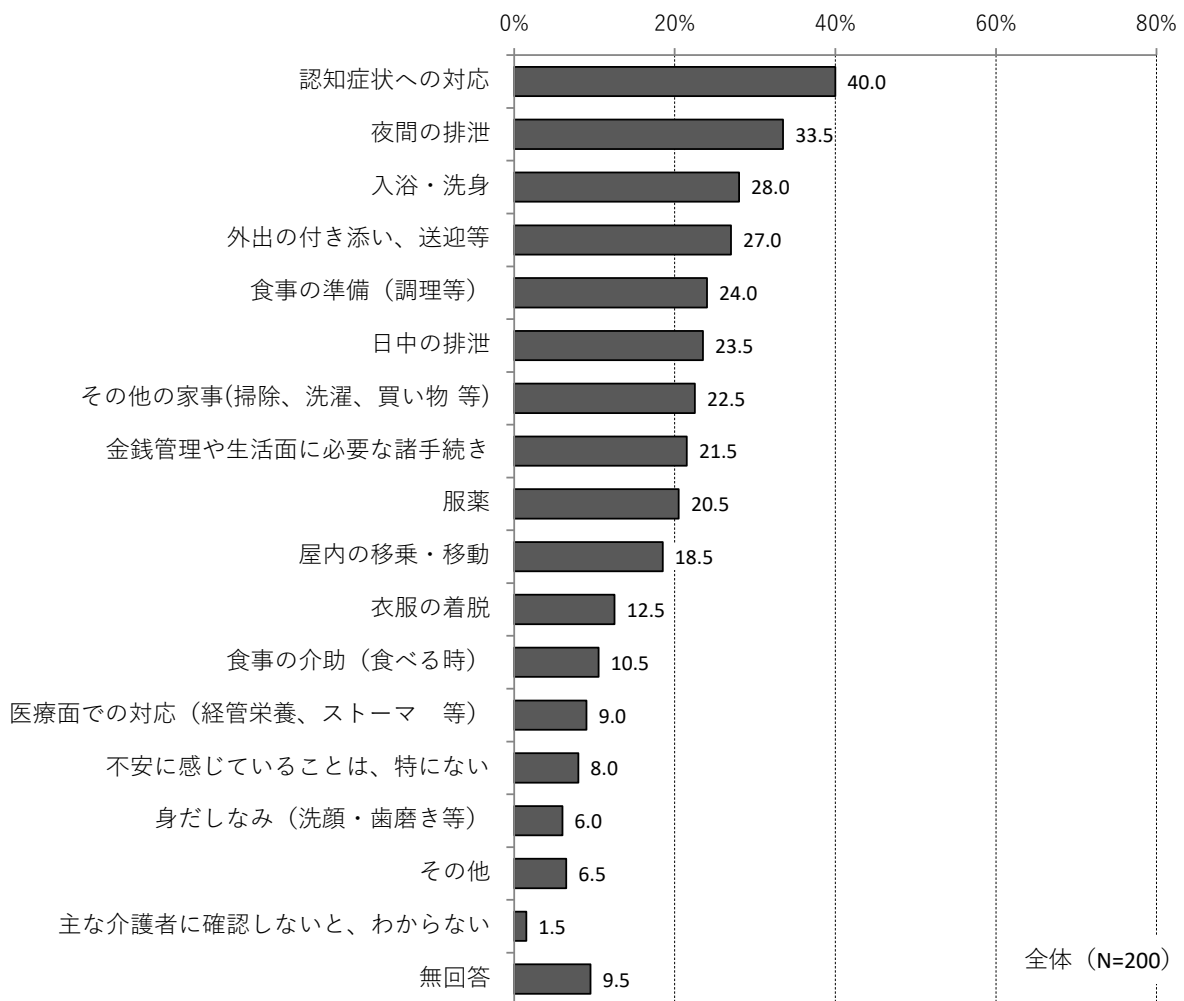
- 主な介護者の年齢についてたずねたところ、「60代」が最も多く26.0%、次いで「70代」が23.0%、「50代」が19.5%と続きます。
- 日常生活圏域別での特徴的な差異は見受けられませんでした。
- 年齢別にみると、「75歳未満」の主な介護者のうち、53.6%が「70代」と回答しています。
- 要介護度別にみると、「要介護1・2」と比較して「要介護3以上」で「80歳以上」の回答率が10.2ポイント高くなっています。
- 世帯類型別にみると、「単身世帯」で「60代」が48.3%と約半数を占めており、「夫婦のみ世帯」では「70代」が44.2%、「80歳以上」が26.9%となっています。
- いずれの属性でも主な介護者のほとんどが「60代」以上となっています。

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



- 主な介護者が行っている介護等についてたずねたところ、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が最も多く 88.0%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 86.0%、「食事の準備(調理等)」が 77.5%と続きます。

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



- 主な介護者の方が不安に感じる介護等についてたずねたところ、「認知症状への対応」が最も多く 40.0%、次いで「夜間の排泄」が 33.5%、「入浴・洗身」が 28.0%と続きます。

【主な介助者が不安に感じる介護（日常生活圏域別）】

	南畑 (N=12)	岩戸A (N=30)	岩戸B (N=74)	安徳A (N=35)	安徳B (N=46)
日中の排泄	33.3	20.0	18.9	28.6	28.3
夜間の排泄	50.0	23.3	35.1	34.3	32.6
食事の介助（食べる時）	8.3	0.0	12.2	20.0	8.7
入浴・洗身	8.3	33.3	21.6	40.0	32.6
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	0.0	0.0	4.1	14.3	8.7
衣服の着脱	8.3	6.7	10.8	17.1	17.4
屋内の移乗・移動	8.3	20.0	21.6	14.3	17.4
外出の付き添い、送迎等	16.7	30.0	32.4	25.7	21.7
服薬	8.3	13.3	25.7	37.1	8.7
認知症状への対応	25.0	33.3	40.5	51.4	41.3
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	0.0	10.0	8.1	8.6	13.0
食事の準備（調理等）	8.3	16.7	28.4	28.6	23.9
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	8.3	20.0	25.7	17.1	28.3
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	16.7	13.3	23.0	25.7	23.9
その他	8.3	6.7	8.1	2.9	6.5
不安に感じていることは、特になし	8.3	3.3	8.1	2.9	15.2
主な介護者に確認しないと、わからない	0.0	3.3	0.0	2.9	2.2
無回答	16.7	13.3	10.8	0.0	6.5

- 日常生活圏域別では、おおむね全体の傾向と同様の結果となっています。

【主な介助者が不安に感じる介護（年齢・要介護度別）】

	年齢		要介護度	
	75歳未満 (N=28)	75歳以上 (N=169)	要介護1・2 (N=107)	要介護3以上 (N=90)
日中の排泄	28.6	23.1	18.7	30.0
夜間の排泄	35.7	33.1	30.8	36.7
食事の介助（食べる時）	7.1	11.2	10.3	11.1
入浴・洗身	21.4	29.6	28.0	28.9
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	10.7	5.3	1.9	11.1
衣服の着脱	28.6	10.1	6.5	20.0
屋内の移乗・移動	17.9	18.3	12.1	25.6
外出の付き添い、送迎等	35.7	26.0	26.2	28.9
服薬	21.4	20.7	20.6	21.1
認知症状への対応	17.9	44.4	44.9	35.6
医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	10.7	8.9	4.7	14.4
食事の準備（調理等）	21.4	24.9	27.1	21.1
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	25.0	22.5	26.2	18.9
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	25.0	21.3	22.4	21.1
その他	0.0	7.7	8.4	4.4
不安に感じていることは、特にない	10.7	7.7	6.5	10.0
主な介護者に確認しないと、わからない	0.0	1.8	1.9	1.1
無回答	14.3	7.7	10.3	6.7

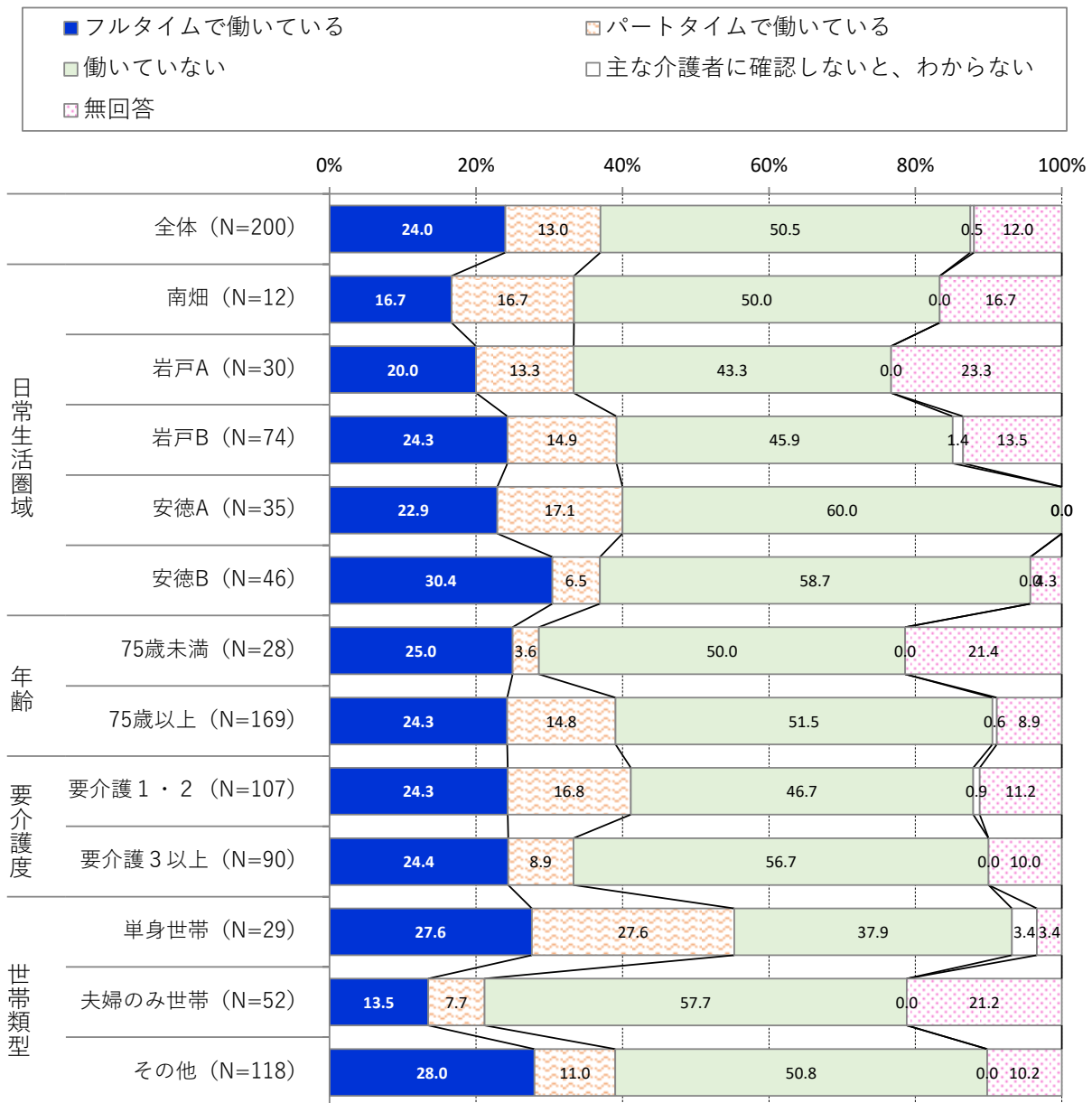
- 年齢別にみると、「認知症状への対応」の回答率が「75歳未満」は17.9%、「75歳以上」は44.4%となっており、26.5ポイント高くなっています。また、「75歳未満」では「衣服の着脱」や「外出の付き添い、送迎等」の回答率が「75歳以上」と比較して高くなっています。
- 要介護度別では、おおむね全体の傾向と同様の結果となっていますが、「認知症状への対応」について、「要介護3以上」（35.6%）よりも「要介護1・2」（44.9%）の方が9.3ポイント高くなっています。

【主な介助者が不安に感じる介護（世帯類型別）】

	単身世帯 (N=29)	夫婦のみ世帯 (N=52)	その他 (N=118)
日中の排泄	17.2	19.2	26.3
夜間の排泄	24.1	36.5	33.9
食事の介助（食べる時）	13.8	11.5	8.5
入浴・洗身	24.1	38.5	24.6
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	0.0	9.6	5.9
衣服の着脱	3.4	25.0	9.3
屋内の移乗・移動	24.1	17.3	17.8
外出の付き添い、送迎等	27.6	32.7	23.7
服薬	34.5	25.0	14.4
認知症状への対応	48.3	25.0	44.9
医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	10.3	7.7	9.3
食事の準備（調理等）	24.1	23.1	23.7
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	31.0	19.2	21.2
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	27.6	25.0	18.6
その他	3.4	3.8	8.5
不安に感じていることは、特にない	6.9	3.8	10.2
主な介護者に確認しないと、わからない	0.0	0.0	2.5
無回答	6.9	13.5	8.5

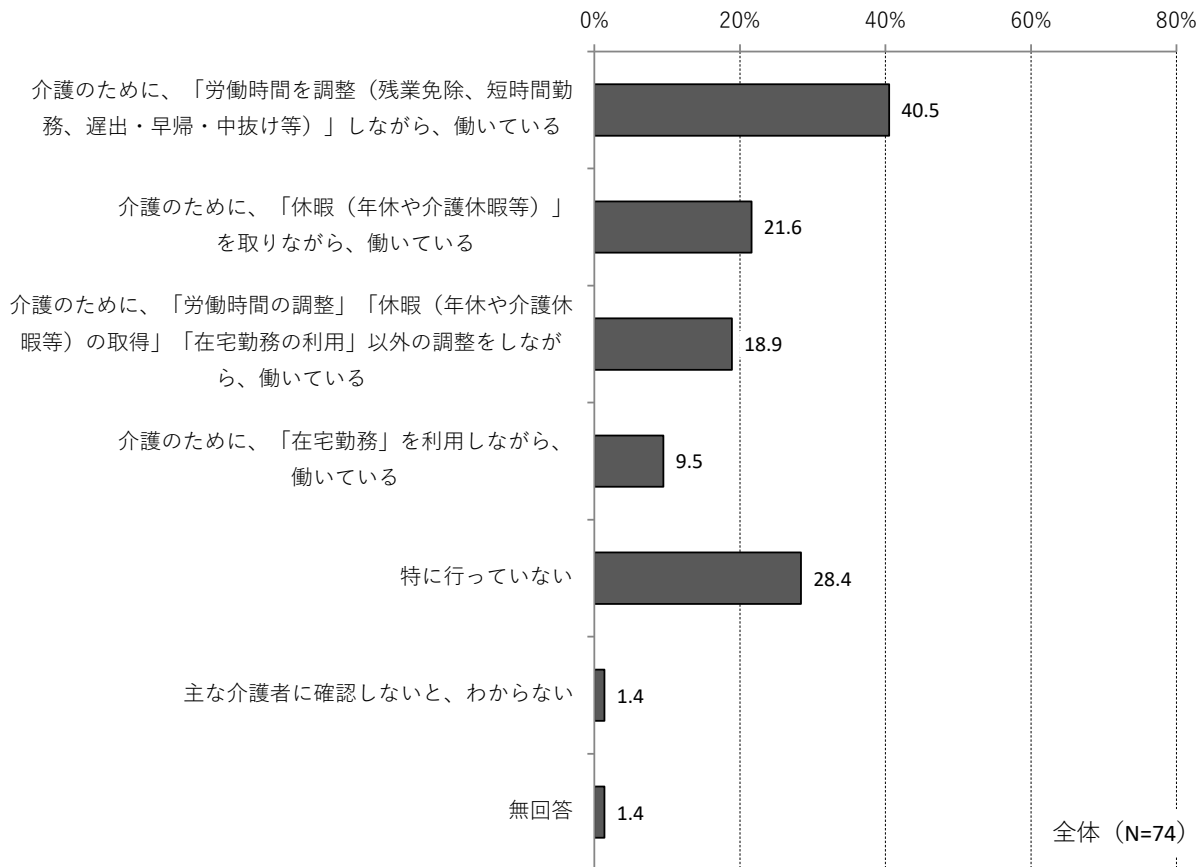
- 世帯類型別にみると、「単身世帯」では「服薬」（34.5%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（31.0%）について、他の世帯類型と比較して回答率が高くなっています。
- 「夫婦のみ世帯」では、「夜間の排泄」（36.5%）、「入浴・洗身」（38.5%）、「外出の付き添い、送迎等」（32.7%）等で回答率が高くなっています。
- 「その他」の世帯では「夜間の排泄」（33.9%）について回答率が高くなっており、「認知症状への対応」については 44.9%と、半数近くが不安を感じていると回答しています。

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



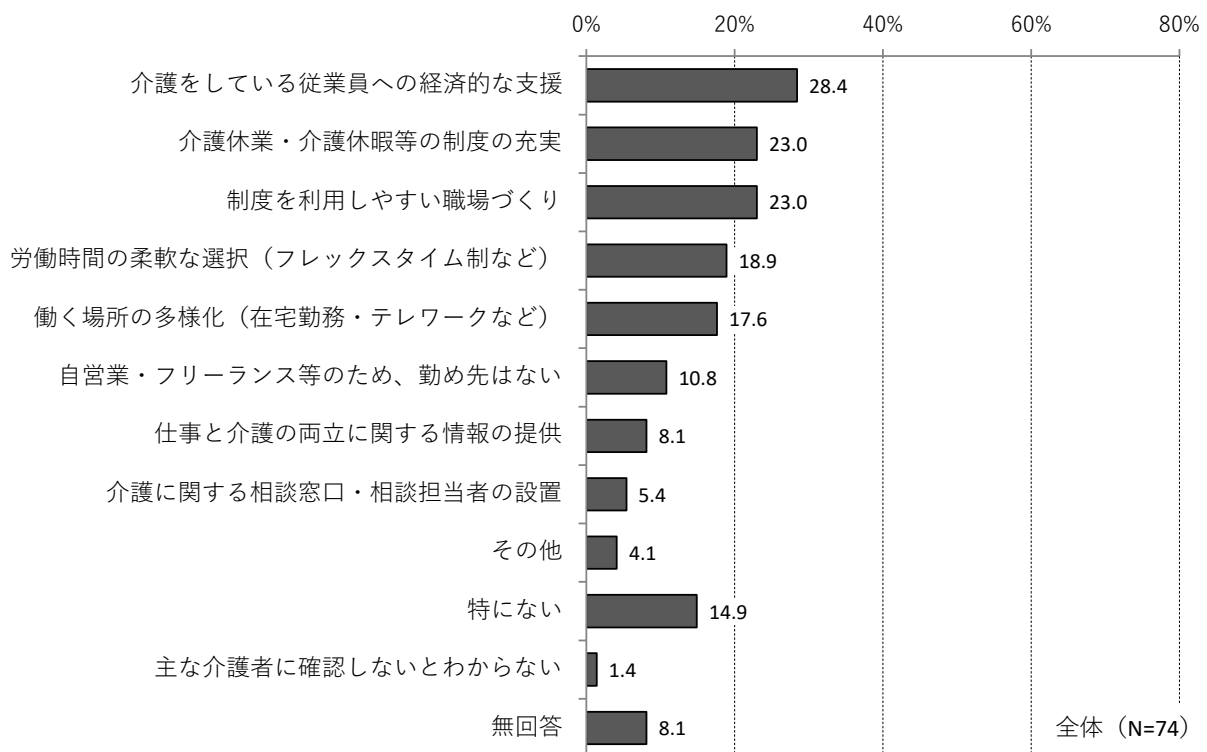
- 主な介護者の現在の勤務形態についてたずねたところ、「フルタイムで働いている」が24.0%、「パートタイムで働いている」が13.0%、「働いていない」が50.5%となっています。
- 日常生活圏域、年齢別での特徴的な差異は見受けられませんでした。
- 要介護度別にみると、「要介護1・2」と比較して「要介護3」以上で「働いていない」の回答率が10.0ポイント高くなっています。
- 世帯類型別にみると、「夫婦のみ世帯」で「フルタイムで働いている」の回答率が13.5%と、他の世帯類型と比較して低くなっています。

問8 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



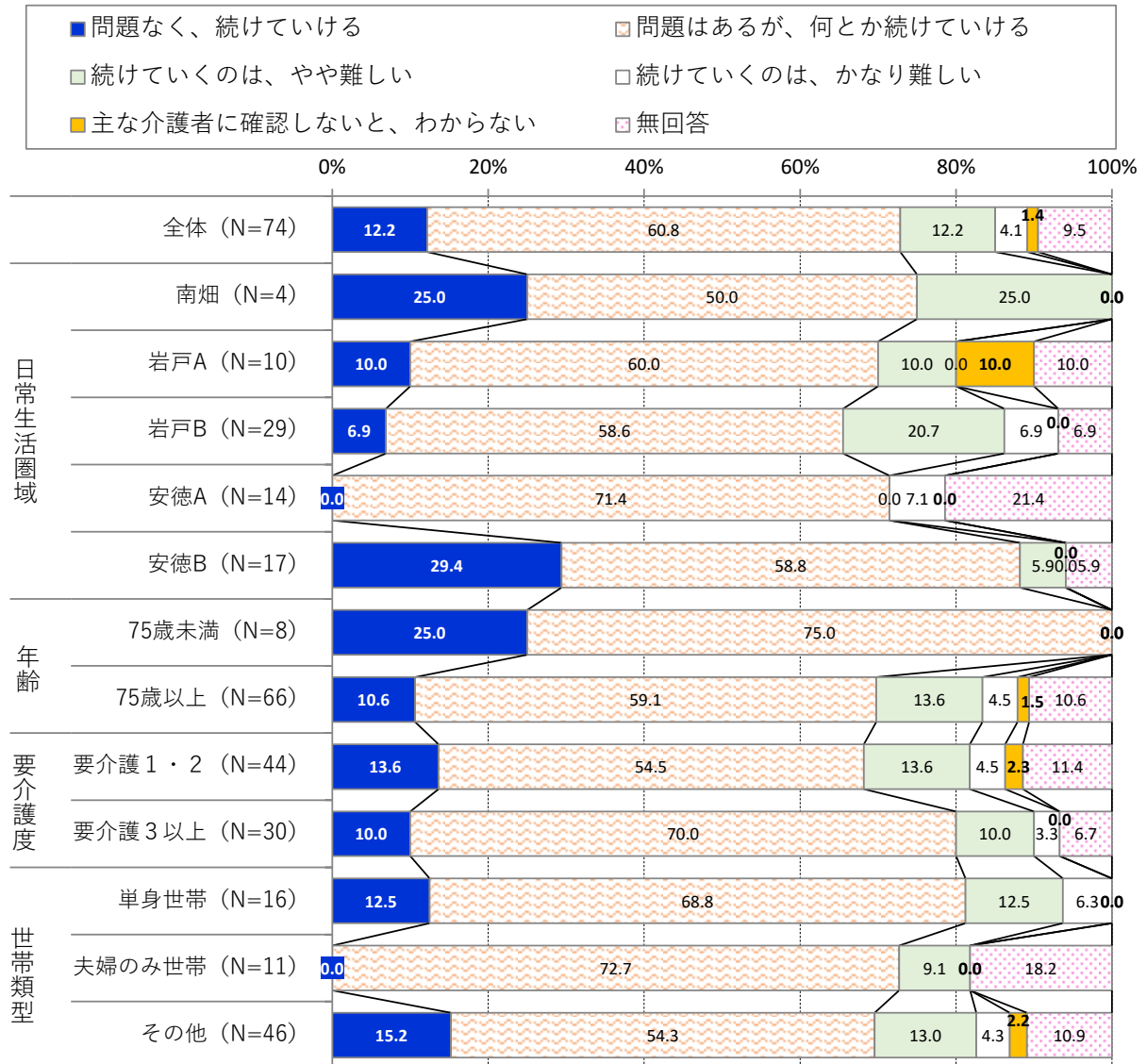
- 主な介護者に対し、介護をするにあたって何か働き方の調整等をしたかをたずねたところ、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も多く 40.5%、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 21.6%、「介護のために、『労働時間の調整』『休暇（年休や介護休暇等）の取得』『在宅勤務の利用』以外の調整をしながら、働いている」が 18.9%と続きます。

問9 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



- 介護にあたって主な介護者が勤め先に期待する支援をたずねたところ、「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も多く 28.4%、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」が 23.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 18.9%と続きます。

問10 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



- 主な介護者の今後の就労についてたずねたところ、「問題なく、続けていける」が12.2%、「問題はあるが、何とか続けていける」が60.8%、「続けていくのは、やや難しい」が12.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が4.1%となっています。
- いずれの属性でも「問題はあるが、何とか続けていける」の回答率が5割から7割程度となっています。

第4章 調査票

第9期

★在宅介護の状況に関するアンケート★

～みなさまの介護の充実のために、ご記入いただき、ご返送ください～

日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、みなさまの生活や介護の状況、健康状態等をうかがい、計画策定の資料とするとともに、今後の保健福祉行政に活かすことを目的として、那珂川市が実施するもので、在宅で介護を受けている方の中から無作為に抽出した500人の方にご協力をお願いしています。

また、お答えいただいた情報は、大切な個人情報であるという認識にたち、那珂川市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱いますので、ご同意の上、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月 那珂川市長 武末 茂喜

- アンケートは、あて名のご本人にお答えいただけますが、ご本人がお答えできない場合には、ご家族の方などが、ご本人の立場に立ってお答えください。
- 調査対象者は、原則、介護認定をお持ちの方で在宅生活者としています。調査票記入時点で、入院中または施設等への入所者は、回答不要です。
- 回答にあたっては、裏面に記載している記入方法の説明と質問内容をよくお読みいただき、ご記入ください。
- 記入した調査票は、同封の返信用封筒に入れ、下記の期限までに郵便ポストへ投函してください(切手は不要)。 **投函期限:令和5年1月13日(金)**
- この調査についての問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】

那珂川市 健康福祉部 高齢者支援課

電話 092-953-2211(内線143)

FAX 092-953-2312

1-001

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、主として「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効なサービスのあり方を検討するために行うものです。
- 本調査で得られた情報につきましては、上記の目的以外には利用いたしません。なお、当該情報は、那珂川市が適切に管理いたします。
- ただし、計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する那珂川市外のデータベース内に情報を登録し、個人が識別されない形で利用することがあります。

【記入方法の説明】

- 回答数が限られる設問がありますので、調査票を記入する際は、文末の指示（複数選択可、1つを選択、3つまで選択可など）にしたがってご回答ください。
- 選択肢は、あてはまるものの番号に○をつけてください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ご注意ください。

A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上 | | |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

問7 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

- | | |
|---|--|
| 1. <small>のうけっかんしっかん</small> 脳血管疾患 <small>のうそっちゅう</small> (脳卒中) | 2. <small>しんしっかん</small> 心疾患 <small>しんぞうびょう</small> (心臓病) |
| 3. <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物 (がん) | 4. <small>こきゅうきしっかん</small> 呼吸器疾患 |
| 5. <small>じんしっかん</small> 腎疾患 (透析) <small>とうせき</small> | 6. <small>きんこつかくけいしっかん</small> 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 <small>こつそ</small> 脊柱管狭窄症等) <small>しょう</small> <small>せきちゅうかんきょうさくしょう</small> |
| 7. <small>こうげんびょう</small> 膠原病 (関節リウマチ含む) <small>かんせつ</small> | 8. <small>へんけいせいかんせつしっかん</small> 変形性関節疾患 |
| 9. <small>にんちしょう</small> 認知症 | 10. <small>ぱーきんそんびょう</small> パーキンソン病 |
| 11. <small>なんびょう</small> 難病 (パーキンソン病を除く) <small>びょう</small> | 12. <small>とうにょうびょう</small> 糖尿病 |
| 13. <small>がんか</small> 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障がいを伴うもの) <small>じびか</small> <small>しっかん</small> <small>しかく</small> <small>ちょうかくしょう</small> | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

問8 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

- | |
|-------------------|
| 1. 利用した ⇨ 問9へ |
| 2. 利用していない ⇨ 問10へ |

問9 問8で「1.」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無（1つに○）	
	H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
K. ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

問10 問8で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他
11. 利用していない

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他
11. 特になし

問13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない

調査は終了です

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない

3. 週に1～2日ある

4. 週に3～4日ある

5. ほぼ毎日ある

B票へ進んでください

※A票の問13で「2.」～「5.」を選択された場合（介護を受けている場合）は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査票宛名）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B 票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. フルタイムで働いている | } 問8～問10へ |
| 2. パートタイムで働いている | |
| 3. 働いていない | } 調査は終了です |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特になし |
11. 主な介護者に確認しないとわからない

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

●調査票記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、
令和5年1月13日（金）までにポストへ投函してください。切手は不要です。

那珂川市在宅介護実態調査結果報告書

令和 5年 3月

発行 那珂川市 健康福祉部 高齢者支援課

〒811-1292 福岡県那珂川市西隈1丁目1番1号
